

第5回向日市中学校給食検討委員会 次第

日時 平成28年3月24日(木)
午後3時から
場所 向日市文化資料館 研修室

1 あいさつ

2 会議事項

(1) 中学校給食検討委員会の報告について

(2) その他

**向日市中学校給食検討委員会
報告書**

(案)

平成28年3月

向日市中学校給食検討委員会

目次

はじめに	1
1 中学校の昼食の在り方についての検討	2
(1) 中学校の昼食に関するアンケート調査（抜粋）	2
(2) 中学校の昼食の在り方についての主な意見	4
(3) 検討結果	6
2 中学校給食の実施方式についての検討	8
(1) 実施方式についての主な意見	8
(2) 検討結果	10
3 まとめ	11

資料

- 資料1 向日市中学校給食検討委員会設置要綱
- 資料2 向日市中学校給食検討委員会委員名簿
- 資料3 向日市中学校給食検討委員会開催状況
- 資料4 都道府県別学校給食実施状況（公立中学校数）
平成25年5月1日現在
- 資料5 平成26年度学校給食実施状況（京都府公立小中学校数）
平成26年5月1日現在
- 資料6 学校給食の実施方式について
- 資料7 視察参考資料
- 資料8 向日市中学校給食検討委員会先進地視察報告
- 資料9 中学校の昼食に関するアンケート調査報告書
- 資料10 中学校給食実施方式比較表（費用目安）
- 資料11 中学校給食実施方式比較表（用地地域等）
- 資料12 用途地域による建物等の用途制限の概要

はじめに

向日市では、中学校の昼食は、弁当を介して家庭のきずなを深めることができることや、成長期にある中学生の体格や活動量、嗜好など個人差に対応できることから、家庭の手づくり弁当を基本としてきました。また、弁当を持参できない場合に補完するものとして、校内においてパンや牛乳等の販売を実施しています。

一方、国においては、平成17年に「食育基本法」が制定され、平成20年には、「学校給食法」が改正され、「学校給食を活用した食に関する指導の実施」という目的が加わるなど、学校給食が果たす役割は大きくなってきています。

また、近年、社会経済構造の変化、国民の価値観の多様化等を背景に、偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや、肥満・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化するとともに、子どもの貧困対策が課題となっています。このため、適切な栄養摂取による健康の保持増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うことがますます重要になっています。

さらに、全国の公立中学校における完全給食実施率は、増加傾向にあり、平成25年度現在、86%の状況となっています。

このような状況を踏まえ、向日市教育委員会では「中学校の昼食の在り方」「中学校給食の方式及び導入」「昼食に関するアンケート調査」などに関する事項を検討するため、「向日市中学校給食検討委員会」を設置されました。

本検討委員会では、中学校給食を実施している先進地の視察を行い、また、児童・生徒、保護者、教職員を対象とした中学校の昼食に関するアンケート調査結果を参考に、中学校の昼食の在り方及び給食の実施方式について、様々な角度から比較・検討を重ねてきました。

ここに検討結果をとりまとめましたので、以下のとおり報告します。

1 中学校の昼食の在り方についての検討

第1回、第2回の検討委員会では、給食の実施について、「偏食のある子どもは、弁当がよいと言うし、小学校のような給食であれば、給食を食べたいとの声もあり、様々な意見がある」「中学生では、食べる量に個人差が激しくなり、給食の量が心配」「食缶方式だと、配膳に時間がかかり、昼食時間の変更や放課後の部活動の時間に影響が出るのではないか」「弁当を持ってこれない子どもがいるのであれば、一番恵まれない環境にある子どもを救うという視点が大事である」などの意見がありました。

また、アンケート調査の対象や内容について検討を行いました。

第3回の検討委員会では、教育委員会の実施した中学校の昼食に関するアンケート調査結果及び自校方式、親子方式、センター方式、デリバリー方式の各方式ごとに実施した先進地視察を踏まえ、向日市にとって、どのような昼食の在り方が最もふさわしいかを検討しました。

(1) 中学校の昼食に関するアンケート調査（抜粋）

検討委員会では、教育委員会が、平成27年11月に実施した「中学校の昼食に関するアンケート調査」のうち、主に「中学校で希望する昼食の形態」「中学校給食に期待すること」の2項目を参考にして、昼食の在り方について検討しました。その概要は、以下のとおりです。

中学校で希望する昼食の形態

	昼食の形態	理 由
児 童	・ 選択できる昼食 41.70%	・ 弁当を毎日つくるのは家族が大変だから 71.80%
		・ 献立を見て日にちごとに選ぶことができるから 54.50%
	・ 家庭の弁当 33.10%	・ 自分の好きな物や食べる量を調整できるから 72.20%
		・ 弁当の方が好きだから 51.90%
	・ 小学校のような給食 18.80%	・ 温かい給食がよいから 51.00%
		・ 栄養バランスが考えられているから 48.60%
	・ 弁当給食 6.40%	・ 配膳、後片付けが簡単だから 66.00%
		・ 栄養バランスが考えられているから 55.00%
生 徒	・ 選択できる昼食 39.30%	・ 献立を見て日にちごとに選ぶことができるから 57.60%
		・ 弁当を毎日つくるのは家族が大変だから 56.20%
	・ 家庭の弁当 38.10%	・ 弁当の方が好きだから 65.00%
		・ その日の体調に合わせて量を調整できるから 47.20%
	・ 小学校のような給食 15.90%	・ 温かい給食がよいから 63.30%
		・ 小学校の給食がおいしかったから 55.30%
	・ 弁当給食 6.50%	・ 配膳、後片付けが簡単だから 52.20%
		・ 弁当を毎日持っていくのが面倒だから 47.80%

	昼食の形態	理 由
小学生保護者	・小学校のような給食 65.70%	・栄養バランスが考えられているから 94.20%
		・温かい給食がよいから 84.40%
	・選択できる昼食 19.30%	・毎日弁当をつくる負担の軽減になるから 61.20%
		・献立を見て日にちごとに選ぶことができるから 40.00%
	・弁当給食 11.90%	・栄養バランスが考えられているから 57.80%
		・子どもの配膳時間が短くてすむから 51.30%
	・家庭の弁当 3.00%	・弁当をつくってあげたいから 43.60%
		・その日の子どもの体調等に合わせて量を調整できるから 43.60%
中学生保護者	・小学校のような給食 54.10%	・栄養バランスが考えられているから 93.00%
		・温かい給食がよいから 87.80%
	・選択できる昼食 28.60%	・毎日弁当をつくる負担の軽減になるから 56.80%
		・弁当給食も選べることで子どもの楽しみが広がるから 39.10%
	・家庭の弁当 9.20%	・弁当をつくってあげたいから 44.90%
		・弁当を通じて子どもとの会話ができるから 30.80%
	・弁当給食 8.00%	・栄養バランスが考えられているから 69.10%
		・子どもの配膳時間が短くてすむから 44.10%
教職員	・家庭の弁当 60.40%	・食物アレルギー対応が細やかにできるから 63.80%
		・子どもの体格にあった分量を準備できるから 41.40%
	・選択できる昼食 28.10%	・家庭の事情等に対応ができるから 81.50%
		・毎日弁当をつくる親の負担の軽減になるから 48.10%
	・小学校のような給食 6.30%	・温かい給食が提供できるから 83.30%
		・栄養バランスが考えられているから 66.70%
	・弁当給食 5.20%	・栄養バランスが考えられているから 100.00%
		・保護者の負担の軽減につながるから 60.00%

(注)「理由」の欄は、選択肢中、上位2項目を記載しています。

中学校給食に期待すること

	期待すること
児童	・栄養バランスの良さ 56.50%
	・温かい昼食 54.40%
	・配膳、後片付けが簡単にできること 24.20%
生徒	・温かい昼食 76.60%
	・栄養バランスの良さ 61.60%
	・配膳、後片付けが簡単にできること 34.50%
保小 護学 者生	・栄養バランスの良さ 91.70%
	・温かい昼食 75.40%
	・食の安全性が確保されていること 60.00%
保中 護学 者生	・栄養バランスの良さ 90.00%
	・温かい昼食 73.60%
	・食の安全性が確保されていること 56.10%
教 職 員	・栄養バランスの良さ 60.40%
	・経済的に困難な家庭の支援 51.00%
	・食の安全性が確保されていること 33.30%

(注)「期待すること」の欄は、選択肢中、上位3項目を記載しています。

(2) 中学校の昼食の在り方についての主な意見

児童・生徒で「選択できる昼食」が一番多かったのが意外であった。理由欄のその他記入内容を見ると、「弁当を作れない日や忘れた日に便利だから」と、直前に選ぶことができるイメージで回答しているのではないか。

「選択できる昼食」が子どもたちに多いのは、明日このおかずなら給食にしようと自由に選択できると思っているようだが、方法論としてそんなことはできないと思う。

「弁当給食」と「選択できる昼食」を選んだ児童・生徒の思いは、アンケートの理由を見ると「めんどうだから」という意見が多い。「家庭の弁当」が良い理由では、「自分の好きなものや食べる量を調節できるから」が多い。中学校へ行くと、お弁当で給食当番もなく楽できている子が多いかと思う。

家庭の貧困問題もある。小学生で、給食をおかわりしてたくさん食べる子に、理由を聞くと、朝食を食べておらず、夕食もあまり食べていないからだという。他市の状況から選択制の昼食の場合、理由を詮索されるので頼まない、友達が頼まないと頼まないなど、実際、選択制を実施している市町では、注文数が少ないと聞いている。給食を必要としている生徒も給食を選択できないことになってしまう。貧困対策と食育の推進から、同じ環境を作ることが大事であり、全員同じ給食提供が必要と考える。

選択制の昼食は、同じ教室内で弁当を食べる生徒と給食を食べる生徒がいた場合、仲良く食べられるのか。食育の観点から、同じものを食べることに給食の意味があると考え。選択制の昼食は、給食の意義からはずれ、単なる昼食提供になり、本来の食育のねらいが全うできないと思う。同じものを食べることで、苦手なものが食べられたり、話題が共通になるなど全員が一緒に食べるのが大事である。

生徒の「家庭の弁当」が良い理由は、「弁当の方が好きだから」、「その日の体調に合わせて量の調節ができるから」、「自分の好きな物を入

れてもらえるから」、「給食当番をしなくてもいいから」などの意見が多かった。将来の骨粗しょう症予防で骨密度を上げなくてはならないなど、発達段階の重要な時期に、栄養バランスが期待されているが、きちっとした食事、食事量を学ばせることが家庭科の中だけではできていない。実際に給食を通して学ぶことも大事だと思う。

児童・生徒で「家庭の弁当」を希望する意見が多かったが、家庭の弁当の内容に差があるので、そのことも考えることが大事だと思う。給食の意味を学びながら同じものを一緒に食べることが大切である。

保護者では、小学校のような給食を希望する意見が多く、弁当を作ることが負担だと感じている。

中学生の保護者の3割以上が「選択できる昼食」を含め、弁当を作ってもいいと思っているので、例えば、弁当の日があったら、弁当を通じたコミュニケーションがとれるのではないかと思う。

自分の子どもはみんなお弁当が良いと言う。給食は小学校のもので、中学校は弁当というイメージがある。お弁当が良いというのは作ってきた方としては嬉しい。

視察先の先生から、給食が導入されて、学校へ来られるようになった生徒がいることや、毎日パンだけ持ってきていた生徒が数人いて、そういった生徒に給食は重要という話を聞いたのが印象に残っている。

給食に期待するものに温かい給食が一番多いので、弁当給食だとおかずは冷たいものになる。望まれているのが、温かい給食なので、弁当給食は適していない。

視察先で気になったのは、担任や副担任が給食の配膳時間に連絡事項をされていて、先生の給食時間が短かった。先生の負担が大きくなる可能性があると思った。

配膳に時間がかかると予想していたが、視察に行って思った以上に配膳が早くできていた。視察先からの説明でも、配膳時間の課題について話されていたが、慣れると小学校の時よりも早くできるようになることや食事時間も早いと聞いた。配膳や片付けにそれほどの時間はかからない印象を受けた。

(3) 検討結果

アンケート調査結果の「中学校で希望する昼食の形態」を見ると、児童・生徒は、「選択できる昼食」が約4割と最も多く、保護者では、「小学校のような給食」が過半数を占め、中学校の教職員では、「家庭の弁当」が約6割と、三者の意見が分かれる結果となりました。

しかし、「小学校のような給食」「弁当給食」「選択できる昼食」を合わせると、児童・生徒の6割強、保護者の9割以上、中学校の教職員の4割弱が何らかの給食を希望しています。

一方、「家庭の弁当」の希望者を見ると、児童・生徒は3割を超え、「選択できる昼食」と合わせると、7割を超えています。保護者では、小学生の保護者が3%、中学生の保護者が9.2%と少ないですが、「選択できる昼食」を含めると、それぞれ2割強、4割弱を占めています。

また、「中学校給食に期待すること」では、主に「栄養バランスの良さ」「温かい昼食」「食の安全性の確保」が挙げられており、中学校の教職員では、「経済的に困難な家庭の支援」についても期待されています。

以上のように、アンケート調査結果では、児童・生徒の希望は、「選択できる昼食」が最多でしたが、検討委員会では、アンケート調査の選択理由や視察結果も踏まえ、幅広く意見交換を行いました。

上述(2)の主な意見にあるように、「選択できる昼食」では、「理由が詮索されるから頼まない、友達が頼まないから頼まないといった理由から給食を必要としている生徒も給食を選択できないことが危惧される」、「中学生は将来の骨粗しょう症の予防などで、栄養バランスが期待されている」、また、食育の観点からも「給食の意味を学びながら同じものを一緒に食べるのが大事である」などの意見が出されました。

このように、心身の発達の著しい中学生という時期における栄養摂取の重要性や、給食を活用した食育の意義、また子どもの貧困対策などに鑑み、本市における「中学校の昼食の在り方」としては、中学校給食を実施し、全員が同じものを食べる「全員喫食」を基本とすべきと考えます。さらに、児童・生徒、保護者とも、アンケート調査で、中学校給食に期待すること

に「温かい昼食」を主な理由としていることから、「弁当給食」ではなく、温かい昼食を提供できる「食缶方式」により実施すべきと考えます。

なお、「家庭の弁当」の希望者の状況から、中学校給食の実施にあたっては、「家庭の弁当」について配慮することも望まれます。

2 中学校給食の実施方式についての検討

第4回の検討委員会では、自校方式、親子方式、センター方式、兄弟方式における「費用目安」や本市における「用途制限」等を踏まえ、向日市にとって最も望ましい実施方式について検討を行いました。

その中で、事務局から、自校方式では、3中学校のうち2校について、学校敷地内に給食施設の用地を確保することが困難であること、親子方式では、6小学校のうち親となり得る小学校は2校であること、また、自校方式以外の方式では、給食施設の建設に当たって、関係法令による建築物の制限があり、京都府との協議が必要であることの説明がありました。

このことを踏まえながら、さらに検討を重ねました。

(1) 実施方式についての主な意見

コストについては、自校方式の費用が高いと思っていたので、他の方式と変わらないことに驚いた。センター方式は、3校分作るのも、スケールメリットもあり、ランニングコストも安く抑えられると思っていたが、自校方式と比べ、配送費用が必要になるためか、高くなっている。費用に大きな差がないなら、食育の面からも、配送がなく、給食の調理から提供までの時間が短いという面からも、自校方式が良い。

理想は自校方式だと思う。調理員さんの調理している姿を見ることによって感謝の気持ちも違ってくると思う。

自校方式で、自分の学校に調理員さんがいて、調理中のおいさ在实际に感じる体験は貴重な食育である。

2つの中学校において、敷地の問題から自校方式が困難であるのなら、1校だけ自校方式で実施するよりは、3つの中学校が同じ条件である方式が良いと思う。

自校方式が良いと思うが、3校それぞれの自校方式が無理ならば、センター方式が、小学校に負担がかからず良いと思う。親子方式の場合、用途地域等の関係から、親となり得る小学校は、2小学校以外は困難で

あるため、3中学校を1対1で実施することはできず、親子方式は1対1の2校ですか、1対2の組み合わせしかない。そうすると小学校は今の3倍の給食を作ることになるので、給食室の増築が必要になり、今まで児童が使っていた学校施設が使えなくなるので、小学校の親子方式は避けていただき、学校外に給食センターを建てて欲しい。

小学校と中学校では、家庭訪問や修学旅行など教育活動に違いがあり、給食を食べる日も異なってくるので、親子方式だと、今より小学校の負担が増えるため、センター方式が良いと思っている。

向日市の小学校給食は、自校方式で各校に栄養教諭や栄養士を配置し、それぞれで献立の管理や、食に関する指導に取り組んでいる。また、学校で収穫した野菜を献立に取り入れたり、学年別のバイキングを行ったりと色々な取り組みを各学校で行っている。親子方式であっても、中学校で給食のない日に、小学校独自の取り組みをするなど、工夫はできる。

親子方式で実施する場合でも、規模が小さい方が衛生管理や個別対応がしやすいので、できれば小学校1校で中学校1校分を調理する組み合わせが良い。

敷地の問題から、自校方式が1校しかできず、食に関する指導を統一したほうが良いのであれば、センター方式しかないと思う。親子方式は、行事のことや衛生面、食物アレルギー対応等のことを考えると、難しいこともあるので、同じ献立で、同時に出せるセンター方式で、兄弟方式が一番良い。

1つの中学校で3中学校分調理する兄弟方式の実施が難しいとしても、センター方式で、中学校専用の安心安全な給食を作ってほしい。

小学校のことを考えると、外にセンターを作ってもらうのがベストだと思うが、結果として無理な場合、中学校1校は自校方式で他の2校は親子方式が考えられる。小学校に迷惑というのではなく、中学生に温かい給食を提供することが大きなことなので、なんらか影響がでるのは協力し、譲り合うことも必要だと思う。

できるだけ早期に実施してほしい。検討した結果、3中学校の実施方式が異なったり、同時期に実施できなくてもそれはそれでよい。

センター方式の用地取得にかかる時間の目途がたたないとしても、センター方式という選択肢を捨てないでほしい。

(2) 検討結果

中学校給食の実施方式については、調理から喫食までの時間がかからず、温かいものや冷たいものがそのまま提供できること、食物アレルギーへのきめ細やかな対応が可能であること、施設整備費や運営費などの費用がより安価であること、献立や食育の取組などに学校の独自性が発揮しやすいこと、既に実施している小学校給食に影響がないことなどから、理想としては自校方式だと考えます。

しかしながら、教育活動に大きな支障がなく給食施設が建設できるのは、1校のみであり、3中学校が揃って自校方式を実施することは困難です。

このため、親子方式、兄弟方式、センター方式の中から、学校内に給食施設が建設できる敷地があり、新たな土地の購入費用が必要無いこと、

中学校分のみを調理することで、小学校給食の献立や食育の取組に影響しないこと、施設整備費や運営費などの費用が、自校方式の次に安価であることなどから、1つの中学校で3中学校分の給食を調理できるセンター機能を持った給食施設を建設する兄弟方式が、最適だと考えます。

なお、兄弟方式では、学校敷地の面積や形状、既存校舎との位置関係などから、どのような規模の給食施設が建設できるか、専門的な調査が必要であり、また、法令上の制限について京都府との協議が必要となります。

親子方式においても、同様に専門的な調査や、法令上の制限について京都府との協議が必要です。

さらに、センター方式は、工業系地域において、建設用地を確保する必要があり、その費用や用地取得に要する期間が不確定であることから、早期の実施は難しいと判断されます。

3 まとめ

検討委員会では、成長期にある中学生が、栄養バランスのとれた食事を摂取することの重要性や、給食を活用した食育を推進すること、また、子どもの貧困問題への対応などから、中学校給食は実施すべきである、との結論に達しました。

給食の提供方法・形態については、全員が同じメニューを食べる「全員喫食」を基本とし、温かい給食を温かいまま提供できる「食缶方式」により実施すべきと考えます。

また、実施方式については、1中学校にセンター機能を持った給食施設を建設する「兄弟方式」が最適であります。この方式が不可能な場合には、自校方式と親子方式を併用した方式が、適当であると考えます。

このほか、学校外に給食施設を建設するセンター方式についても選択肢の1つとして考慮いただきたいと考えます。

なお、中学校給食の実施にあたっては、以下の点に配慮することを望みます。

- (1) 小学校給食における食物アレルギーの対応は、児童の個別な事情に応じたきめ細やかな対応が実施されており、中学校給食においても同様に、生徒の個別な事情に応じたきめ細やかに対応すること。
- (2) 配膳・後片付けの時間の確保や、給食指導などの学校運営上の課題については、教育委員会が主体となって、学校現場と連携しながら、教職員の負担軽減と不安の解消に向けて適切な方策を講じること。
- (3) 保護者が子どもの弁当を作ることは、親子のコミュニケーションが図れ、きずなを深めることができる意義あるものであるとともに、アンケート調査の「家庭の弁当」の希望者の状況から、給食の実施後も、「家庭の弁当」について配慮すること。

資 料

- 資料 1 向日市中学校給食検討委員会設置要綱
- 資料 2 向日市中学校給食検討委員会委員名簿
- 資料 3 向日市中学校給食検討委員会開催状況
- 資料 4 都道府県別学校給食実施状況（公立中学校数）
平成25年5月1日現在
- 資料 5 平成26年度学校給食実施状況（京都府公立小中学校数）
平成26年5月1日現在
- 資料 6 学校給食の実施方式について
- 資料 7 視察参考資料
- 資料 8 向日市中学校給食検討委員会先進地視察報告
- 資料 9 中学校の昼食に関するアンケート調査報告書
- 資料10 中学校給食実施方式比較表（費用目安）
- 資料11 中学校給食実施方式比較表（用地地域等）
- 資料12 用途地域による建物等の用途制限の概要

向日市中学校給食検討委員会設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、向日市立中学校における給食の導入について検討するため、向日市中学校給食検討委員会（以下「委員会」という。）を設置し、所掌事務を定めるとともに、その運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討し、その結果を向日市教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に報告する。

- (1) 中学校の昼食の在り方に関する事項
- (2) 中学校給食の方式及び導入に関する事項
- (3) 昼食に関するアンケート調査に関する事項
- (4) その他中学校給食の検討に必要な事項

(組織)

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 市立中学校校長
- (3) 市立小学校校長
- (4) 市立中学校教諭
- (5) 市立中学校養護教諭
- (6) 市立小学校栄養教諭
- (7) 市立各中学校PTA
- (8) 市立小学校PTA
- (9) 市教育委員会教育部長
- (10) 市教育委員会教育部栄養士

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に規定する報告を行うまでの期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。ただし、委員長及び副委員長が選出されていないときは、教育長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めるときは、関係者その他委員以外の者に対して、会議への出席を求め意見若しくは説明を聴くこと又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、教育委員会教育部学校教育課において処理する。

(秘密の保持)

第 8 条 委員は、職務上知り得た個人の秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(その他)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成 27 年 9 月 3 日から施行する。

向日市中学校給食検討委員会委員名簿			
	選出区分	氏名	所属等
1	学識経験者	大谷 貴美子	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授
2	中学校校長代表	藤井 真次	西ノ岡中学校 校長
3	小学校校長代表	縄手 健也	第4向陽小学校 校長
4	中学校教諭代表	富田 洋平	勝山中学校 教諭
5	中学校養護教諭代表	寺井 文子	寺戸中学校 養護教諭
6	小学校栄養教諭代表	長坂 克恵	第5向陽小学校 栄養教諭
7	各中学校 P T A 代表	西森 留美	勝山中学校 P T A
8		森崎 美保子	西ノ岡中学校 P T A
9		西山 明美	寺戸中学校 P T A
10	小学校 P T A 代表	宮前 昭宏	向陽小学校 P T A
11		岩野 修	第4向陽小学校 P T A
12	教育委員会	野田 研二	教育部長
13		今西 ゆかり	学校教育課 栄養士
		委員長、 副委員長	(敬称略)

向日市中学校給食検討委員会 開催状況について		
実施日	日時・場所	内 容
第 1 回	平成 2 7 年	委員委嘱
	9 月 3 0 日 (金)	委員長、副委員長の選出
	午後 3 時から	議題
	向日市民会館 第 1 会議室	(1)公開に関する要綱及び傍聴要領について (2)中学校給食の現状について (3)アンケート調査について
第 2 回	平成 2 7 年	議題
	1 0 月 2 8 日 (水)	(1)アンケート調査について
	午後 3 時から	(2)先進地視察について
	向日市民会館 第 1 会議室	
先進地視察	平成 2 7 年	デリバリー方式
	1 1 月 5 日 (木)	舞鶴市立和田中学校
	平成 2 7 年	自校方式
	1 1 月 6 日 (金)	箕面市立第三中学校
先進地視察	平成 2 7 年	センター方式
	1 1 月 1 8 日 (水)	木津川市立加茂センター、泉川中学校
	平成 2 7 年	親子方式
	1 1 月 2 5 日 (水)	高槻市立北清水小学校、第九中学校
アンケート 調査実施	平成 2 7 年	アンケート調査実施
	1 1 月 1 3 日 (金)	児童・生徒・保護者・中学校教職員
	~ 1 9 日 (木)	
第 3 回	平成 2 8 年	議題
	1 月 2 9 日 (月)	(1)先進地視察報告について
	午後 3 時から	(2)アンケート結果について
	向日市役所 大会議室	(3)昼食の在り方及び給食の方式等について
第 4 回	平成 2 8 年	議題
	2 月 2 3 日 (火)	(1)中学校給食の実施方式等について
	午後 3 時から 向日市文化資料館 研修室	
第 5 回	平成 2 8 年	議題
	3 月 2 4 日 (水)	(1)報告書(案)について
	午後 3 時から 向日市文化資料館 研修室	

都道府県別学校給食実施状況(公立中学校数)									
平成25年5月1日現在									
都道府県名	総数	完全給食		補食給食		ミルク給食		計	
		学校数	百分比	学校数	百分比	学校数	百分比	学校数	百分比
1 北海道	633	605	95.6	12	1.9	11	1.7	628	99.2
2 青森県	164	151	92.1	1	0.6	12	7.3	164	100.0
3 岩手県	173	152	87.9	4	2.3	17	9.8	173	100.0
4 宮城県	207	199	96.1	6	2.9	1	0.5	206	99.5
5 秋田県	121	120	99.2	-	-	-	-	120	99.2
6 山形県	104	95	91.3	6	5.8	2	1.9	103	99.0
7 福島県	229	225	98.3	-	-	4	1.7	229	100.0
8 茨城県	231	228	98.7	3	1.3	-	-	231	100.0
9 栃木県	165	160	97.0	-	-	-	-	160	97.0
10 群馬県	170	166	97.6	-	-	1	0.6	167	98.2
11 埼玉県	421	419	99.5	-	-	1	0.2	420	99.8
12 千葉県	382	382	100.0	-	-	-	-	382	100.0
13 東京都	630	618	98.1	-	-	9	1.4	627	99.5
14 神奈川県	416	104	25.0	-	-	161	38.7	265	63.7
15 新潟県	240	237	98.8	1	0.4	1	0.4	239	99.6
16 富山県	80	80	100.0	-	-	-	-	80	100.0
17 石川県	92	90	97.8	-	-	2	2.2	92	100.0
18 福井県	76	72	94.7	4	5.3	-	-	76	100.0
19 山梨県	89	86	96.6	-	-	-	-	86	96.6
20 長野県	190	186	97.9	-	-	1	0.5	187	98.4
21 岐阜県	187	186	99.5	-	-	-	-	186	99.5
22 静岡県	265	256	96.6	1	0.4	7	2.6	264	99.6
23 愛知県	418	417	99.8	-	-	-	-	417	99.8
24 三重県	164	109	66.5	-	-	15	9.1	124	75.6
25 滋賀県	100	55	55.0	2	2.0	3	3.0	60	60.0
26 京都府	172	119	69.2	-	-	6	3.5	125	72.7
27 大阪府	465	201	43.2	3	0.6	24	5.2	228	49.0
28 兵庫県	350	188	53.7	1	0.3	101	28.9	290	82.9
29 奈良県	105	73	69.5	-	-	4	3.8	77	73.3
30 和歌山県	128	88	68.8	-	-	-	-	88	68.8
31 鳥取県	61	47	77.0	-	-	12	19.7	59	96.7
32 島根県	100	94	94.0	-	-	4	4.0	98	98.0
33 岡山県	163	158	96.9	-	-	3	1.8	161	98.8
34 広島県	241	171	71.0	6	2.5	52	21.6	229	95.0
35 山口県	157	156	99.4	-	-	-	-	156	99.4
36 徳島県	86	85	98.8	-	-	-	-	85	98.8
37 香川県	70	70	100.0	-	-	-	-	70	100.0
38 愛媛県	136	135	99.3	-	-	-	-	135	99.3
39 高知県	108	67	62.0	-	-	22	20.4	89	82.4
40 福岡県	344	294	85.5	-	-	50	14.5	344	100.0
41 佐賀県	92	69	75.0	2	2.2	20	21.7	91	98.9
42 長崎県	178	144	80.9	-	-	33	18.5	177	99.4
43 熊本県	171	166	97.1	1	0.6	-	-	167	97.7
44 大分県	129	126	97.7	-	-	3	2.3	129	100.0
45 宮崎県	136	134	98.5	-	-	-	-	134	98.5
46 鹿児島県	233	231	99.1	-	-	-	-	231	99.1
47 沖縄県	150	149	99.3	-	-	-	-	149	99.3
計	9,722	8,363	86.0	53	0.5	582	6.0	8,998	92.6

文部科学省：平成25年度学校給食実施状況調査

資料 5

平成26年度 学校給食実施状況(京都府公立小中学校数)											
											平成26年5月1日現在
市町村名	小 学 校			中 学 校							
	全学校	完全	完給率	全学校	完全	完給率	実施方式	補食	ミルク	実施計	実施率
向日市	6	6	100.0%	3	0	0.0%		0	0	0	0.0%
長岡京市	10	10	100.0%	4	0	0.0%		0	0	0	0.0%
大山崎町	2	2	100.0%	1	0	0.0%	(選択性デリバリー弁当)	0	0	0	0.0%
乙訓局小計	18	18	100.0%	8	0	0.0%		0	0	0	0.0%
宇治市	22	22	100.0%	10	0	0.0%	(選択性デリバリー弁当)	0	0	0	0.0%
城陽市	10	10	100.0%	5	5	100.0%	センター方式	0	0	5	100.0%
八幡市	8	8	100.0%	4	0	0.0%	(選択性デリバリー弁当)	0	0	0	0.0%
京田辺市	9	9	100.0%	3	0	0.0%	(選択性デリバリー弁当)	0	0	0	0.0%
木津川市	13	13	100.0%	5	5	100.0%	センター方式	0	0	5	100.0%
久御山町	3	3	100.0%	1	0	0.0%		0	1	1	100.0%
井手町	2	2	100.0%	1	1	100.0%	センター方式	0	0	1	100.0%
宇治田原町	2	2	100.0%	1	1	100.0%	センター方式	0	0	1	100.0%
精華町	5	5	100.0%	3	0	0.0%	(選択性デリバリー弁当)	0	0	0	0.0%
相楽東部広域連合	3	3	100.0%	2	2	100.0%	センター方式	0	0	2	100.0%
山城局小計	77	77	100.0%	35	14	40.0%		0	1	15	42.9%
亀岡市	18	18	100.0%	8	0	0.0%		0	0	0	0.0%
南丹市	17	17	100.0%	4	4	100.0%	センター方式	0	0	4	100.0%
京丹波町	5	5	100.0%	3	3	100.0%	センター方式	0	0	3	100.0%
南丹局小計	40	40	100.0%	15	7	46.7%		0	0	7	46.7%
綾部市	10	10	100.0%	6	4	66.7%	自校方式(4校)	0	2	6	100.0%
福知山市	24	24	100.0%	9	9	100.0%	センター方式	0	0	9	100.0%
舞鶴市	18	18	100.0%	7	5	71.4%	デリバリー方式(5校)	0	0	5	71.4%
中丹局小計	52	52	100.0%	22	18	81.8%		0	2	20	90.9%
宮津市	7	7	100.0%	3	0	0.0%		0	1	1	33.3%
京丹後市	20	20	100.0%	7	7	100.0%	自校方式(5校) センター方式(2校)	0	0	7	100.0%
伊根町	2	2	100.0%	1	1	100.0%	自校方式	0	0	1	100.0%
与謝野町	9	9	100.0%	2	2	100.0%	センター方式	0	0	2	100.0%
与謝野町宮津市中学校組合	-	-		1	1	100.0%	センター方式	0	0	1	100.0%
丹後局小計	38	38	100.0%	14	11	78.6%		0	1	12	85.7%
市町村計(京都市除)	225	225	100.0%	94	50	53.2%		0	4	54	57.4%
京都市	166	166	100.0%	73	71	97.3%	デリバリー方式	0	1	72	98.6%
京都府	-	-		2	0	0.0%		0	0	0	0.0%
合 計	391	391	100.0%	169	121	71.6%		0	5	126	74.6%

京都府作成の資料を基に、実施方式欄を追加した向日市作成資料

学校給食の実施方法について

(学校給食の提供方法・提供形態・実施方式)

1. 学校給食の提供方法

(1) 全員喫食方式

同じ献立の給食を生徒全員が食べる方式。

(2) 選択制方式

市が提供する給食か、家庭の弁当かどちらかを選べる方式。

2. 学校給食の提供形態

(1) 食缶方式

小学校給食と同じ方式。1 クラス分ずつまとめて保温容器(食缶)に入れてあるものを教室に運搬し、教室で食器に盛り付け配膳する方式。

(2) 弁当箱方式

あらかじめ1人分ずつを弁当箱に詰めてあるものを提供する方式。

3. 学校給食の実施方式

学校給食を実施するにあたっては、その給食をどこで作るかによって、また、調理施設と学校敷地との位置関係等から、主に4つの実施方式がある。

(1) 自校方式(単独調理場方式)

各中学校の敷地に給食室を建設し、そこで給食を調理する方式。

(現在の向日市立小学校給食の方式)

(2) 親子方式

既存の小学校の給食施設で、中学校の給食も調理し、配送する方式。

調理場を持つ学校が「親」、調理場を持たない学校が「子」となる。

(3) センター方式(共同調理場方式)

学校外に給食調理施設を建設して、複数の中学校の給食を一括調理し、各中学校へ

配送する方式。

(4) デリバリー方式(民間調理場方式)

民間事業者が持つ調理施設で給食を調理し、弁当箱に入れて各中学校へ配送する方式。

視察参考資料							
方式	自校方式	親子方式	センター方式	テリバー方式			
概要	学校敷地内の調理場で給食を調理する方式 (本市小学校給食の方式)	調理場を持つ学校(親)が、調理場を持たない学校(子)の給食を調理し、配送する方式	学校外の調理施設で複数の学校の給食を一括調理し、各学校へ配送する方式	民間事業者が持つ調理施設で調理し、弁当箱に盛りつけた給食を各学校へ配送する方式			
献立の作成	各学校で個別な献立の対応が可能	親校と子校が一体となった献立の対応が可能	大量に一括調理するため、献立の自由度は小さい	個別の対応は困難			
安全管理	食物アレルギー等の対応	個別の対応が可能	調理食数が多くなるため、より多くの個別の対応が求められる	調理食数が多くなるため、より多くの個別の対応が求められる	個別の対応は困難		
	適温提供	調理後すぐに喫食できるため、適温での提供が可能	食缶や配送方法を工夫することにより可能	同左	おかずは10℃以下で保冷した状態		
	衛生管理	食中毒が発生した場合は被害範囲が自校のみにとどまる	食中毒が発生した場合は被害範囲が親校と子校にとどまる	食中毒が発生した場合は被害範囲が全校に広がることもある			
食育の推進	学校毎に調理員等と連携した取組が可能	親校と子校が連携することにより調理員等と連携した取組が可能	親校とセンターが連携することにより調理員等と連携した取組が可能	連携した取組は困難			
昼食時間	どの方式も調理場又は配膳室から教室まで給食を運ぶ必要があり、運搬・配膳・後片付けの時間が必要である						
導入課題	用地の確保	学校敷地内に調理場を建築するため、用地の確保が必要である	親校の調理場を増築する場合は、用地の確保が必要である	新たな用地の確保が必要である			
	敷地の条件		親校の調理場から子校へ配送する場合、建築基準法上、「工場」扱いとされるため、法的制約を受けなければならない場合がある	給食センターは建築基準法上、「工場」扱いとされるため、法的制約を受けなければならない場合がある			

向日市中学校給食検討委員会先進地視察報告

資料8

調理方式	デリバリー方式
日時	平成27年11月5日(木)午前11時~午後2時
視察先	舞鶴市立和田中学校
出席委員	富田委員 野田委員 今西委員
事務局	永野教育長 吉田学校教育課長
概要	舞鶴市では、成長期にある中学生の心身の健全な発達と望ましい食習慣の形成のため、全生徒を対象にスクールランチ方式(民間の調理場で調理し、弁当箱に詰めて学校に配食する方法)による給食を実施、 食育を進める上で、全員喫食とされた。
学校数	小学校18校 中学校7校
施設概要	給食調理及び配食は、業者委託。弁当箱に入った状態で納入される。 運搬しやすいように、スロープを設置。クラス毎の配膳棚を設置。
経費	和田中学校 平成24年10月から給食実施 配膳室設置工事費 226万円 (空階設備・シンク・換気扇設置) 配膳室備品整備購入費 165万円 (牛乳保冷庫 保存食用冷凍庫 配膳棚他) 弁当箱等消耗品購入費 150万円 (弁当箱 配送用コンテナ他) 調理配送業務委託費 1食当たりの単価契約 単価×食数×給食回数 平成26年10月から、すべての中学校で給食実施
中学校の設備	教室を改修した配膳室 牛乳保冷庫 配膳棚 シンク等
配送車	各校ごとの配送車
配膳員	4時間配置:1名 人数の多い学校では複数配置
調理業務	民間委託(スクールランチ方式)
給食の様子	お昼休みに、当番の生徒が配膳室まで取りに来る。エプロン等は着用しない。 各クラスで、配膳台に並べられたものを生徒が取りに来て喫食。 お替り用のごはんはおひつに入れられ、各クラスに用意される。
昼食時間	給食導入のために、昼食の時間が10分延長されたが、現在は戻っている。
導入に際して	導入時の教師への研修が大切

向日市中学校給食検討委員会先進地視察報告

資料8

調理方式	自校調理方式
日時	平成27年11月6日(金)午前10時30分~午後2時
視察先	箕面市立第三中学校
出席委員	縄手委員、寺井委員、西森委員、今西委員
事務局	吉田学校教育課長、小畑学校教育担当課長、片山教育総務課長補佐、辻野営繕課長、山本担当課長
概要	自校調理方式では、他の方式と比べて「食べる直前まで調理でき、適温でおいしく食べられる」「食物アレルギーへの対応に最も優れている」「各校に給食室があることで、食育の生きた教材として活用できる」ことなどに優れており、これらのメリットを最大限に生かした中学校給食を展開されている。
学校数	小学校12校 中学校8校 小中一貫校2校
施設概要	学校の敷地内に給食室を新設、校内で調理、リフトを設置し、各階の配膳室まで、給食を運搬する。配膳室で、各クラスの配膳台にクラス分を準備する。 給食室 鉄骨310㎡ 613食
経費	第三中学校 給食棟建築費のみ 4億3,000万円 その他備品代 箕面市全体 施設整備費 総額約20億円 運営費 年間約1億1,700万円 箕面市生徒数 約3,470人
中学校の設備	リフトがあり、各階の廊下にあるワゴンスペースから、配膳ワゴンを利用し生徒が運搬
配送車	自校調理方式のため不要
配膳員	自校調理方式のため不要
調理業務	民間委託
給食の様子	生徒は自前のエプロンと三角巾を着用し、配膳室前で、委員会活動の生徒による手指の消毒を受け、配膳室から教室まで運搬。 教室で配膳して喫食。 給食実施から1年半が経過し、生徒も慣れてきた。
昼食時間	給食導入のために、昼食の時間が10分延長。
導入に際して	給食の運搬・配膳・片付け等、実施案を作成。 給食導入前に教職員でシミュレーションをして準備した。

向日市中学校給食検討委員会先進地視察報告

資料8

調理方式	センター方式
日時	平成27年11月18日(水)午前10時30分~午後2時
視察先	木津川市立加茂学校給食センター、木津川市立泉川中学校
出席委員	長坂委員、西山委員、今西委員
事務局	永野教育長、吉田学校教育課長、浦元教育総務課長、辻野営繕課長、山本営繕担当課長、第2向陽小学校大西課長補佐、第6向陽小学校富谷栄養士
概要	木津川市は、平成19年に木津町、山城町、加茂町が合併して発足。合併以前から木津町、山城町では給食センターによる中学校給食の提供があったため、加茂町の中学校給食の実施が課題となった。平成22年4月加茂学校給食センター開設、泉川中学校で完全給食実施。
学校数	加茂給食センター：小学校5校 中学校1校 (木津川市：小学校13校 中学校5校)
施設概要	フルドライシステム採用の給食センターで調理。 (アレルギー食は専用の調理室で調理。) 配送車3台で6校に配送。配膳室に食器用と料理用のコンテナで配置。 鉄骨1,339㎡ 約3,000食
経費	センター建築事業費 約7億円 (学校の敷地に建設) 備品代 400万円 運営費 年間約1億4300万円 加茂給食センター児童・生徒数 約2,800人
中学校の設備	配膳室(教室を改修) 牛乳保冷庫、パン用かご等直接納品対応分を設置。
配送車	加茂センターに3台。 先に食器等を配送し、後から給食を配送する。(2回転)
配膳員	3時間配置：1名
調理業務	民間委託
給食の様子	生徒は配膳室まで給食を取りに行き、教室で配膳し、喫食する。 強化磁器の食器を使用。生徒は丁寧に扱っている。 生徒用の白衣は学校で用意、給食当番は週末に持ち帰り洗濯する。
昼食時間	給食導入のために、昼食の時間が10分延長。
導入に際して	給食を指導の機会としてとらえる。

向日市中学校給食検討委員会先進地視察報告

資料8

調理方式	親子方式
日 時	平成27年11月25日(水)午前10時30分~午後2時
視察先	高槻市立北清水小学校(親校) 高槻市立第九中学校(子校)
出席委員	藤井委員、縄手委員、富田委員、長坂委員、西森委員、森崎委員、西山委員、岩野委員、今西
事務局	永野教育長、吉田学校教育課長
概 要	高槻市では、親子方式を基本として、全中学校での実施に向け、平成24年度から市内2中学校での試行を経て、平成26年度から全中学校で中学校給食が実施された。 調理方式は、小学校の施設を有効活用して調理を行う方法と、一部の中学校に給食調理場を建設し、別の中学校にも配送する親子方式である。
学校数	小学校41校 中学校18校
施設概要	北清水小学校では、開校当時、1100人以上の児童数であったが、今では約400人に減っている。小学校の給食室を増築し、親校分と子校分を別に調理されている。温かい状態で提供できるように、二重食缶などを利用して配送されている。 第九中学校分は、北清水小学校(2・3学年分)と安岡寺小学校(1学年分)の二つの小学校から調理・配送されている。
経 費	北清水小学校(親校) 児童数402人 : 増築工事費約2900万円、備品購入費約300万円 第九中学校(子校) 生徒数561人 : 配膳室工事費590万円、備品購入費約300万円 高槻市全体の施設設備整備費 約17億円(給食室の新築含む) 運営費 年間約2億9,300万円 高槻市生徒数 約9,200人
中学校の設備	配膳室に牛乳保冷庫、パン用かご等直接納品対応分を設置。 2クラス分につき1台のコンテナスペースが必要。(9台)
配送車	親校の2小学校からコンテナを積み込み、子校へ配送
配膳員	4時間配置: 2名
調理業務	直営
給食の様子	生徒は自前のエプロンと三角巾を着用し、配膳室前で委員会活動の生徒による手指の消毒を受け、配膳室から教室まで運搬。 教室で配膳して喫食。 給食実施から1年半が経過し、生徒も慣れてきた。
昼食時間	給食導入のために昼食の時間が10分延長。
導入に際して	時程については、読書タイムを工夫したり、6時限目を5分遅らせた。

資料10

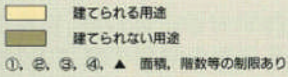
中学校給食実施方式 比較表(費用目安)							
実施方式		【 自 校 】	【 親 子 】 親校対子校は、1対1を想定		【 親 子 】 親校対子校は、1対1と1対2を想定		【 センター 】 【 兄 弟 】
			小学校改修費を含む	中学校増築分のみ	小学校改修費を含む	中学校増築分のみ	
施設概要	規模(食数)	450食・550食・650食	1,100食 × 3組		1,100食 × 1組、1,650食 × 1組		1,650食
	延べ床面積	300m ² ・350m ² ・400m ²	650m ² × 3校		650m ² × 1校、950m ² × 1校		950m ²
概算費用	イニシャルコスト	約6億9,000万円	約10億9,000万円	約7億円	約9億4,000万円	約6億9,000万円	約6億8,000万円
	ランニングコスト (年間)	約5,600万円	約1億1,300万円	約5,900万円	約9,500万円	約5,900万円	約5,900万円
総費用	10年間	約12億5,000万円	約22億2,000万円	約12億9,000万円	約18億1,900万円	約12億8,000万円	約12億7,000万円
	20年間	約18億1,000万円	約33億5,000万円	約18億8,000万円	約28億4,000万円	約18億7,000万円	約18億6,000万円
備考	・延べ床面積は、本市小学校の給食室の面積を参考に算出。						
	・親子方式の食数は、小学校の平均550食と中学校の平均550食を基に算出。						
	・親子方式の費用は、小学校給食室の改修費用を含む総額と中学校分のみを費用を算出。						
	・費用には用地取得費は含まない。						

資料11

中学校給食実施方式 比較表(用途地域等)											
実施方式		【 自 校 】			【 親 子 】						【 センター 】
		勝山中	西ノ岡中	寺戸中							
用途地域	用途地域等	第1種 低層住居 専用地域	市街化調整 区域	第1種 住居地域	(親校) 向陽小 2向小 3向小 4向小 5向小 6向小 第1種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第1種住居地域 第1種低層住居専用地域 市街化調整区域 市街化調整区域						工業系地域
	建築用途制限	学校の付属施設として建築可能			他校への給食搬出が伴うため、「工場」扱いとなり建築に制限を受ける。						給食共同調理場(工場)として建築可能

用途地域による建築物の用途制限の概要

各用途地域における住居の環境の保護や、商業・工業などの業務の利便の増進を図るために、建築することができる建築物の用途については、次のとおりの制限が行われます。

用途地域内の建築物の用途制限 	第一種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	備 考
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
住宅、共同住宅、寄宿舎、下宿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
兼用住宅で、非住宅部分の床面積が、50㎡以下かつ建築物の延べ面積の2分の1未満のもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	非住宅部分の用途制限あり
店舗等の床面積が 150㎡以下のもの	①	②	③	○	○	○	○	○	○	○	④	① 日用品販売店舗、喫茶店、理髪店及び建具屋等のサービス業用店舗のみ、2階以下。 ② ①に加えて、精品販売店舗、飲食店、損保代理店・銀行の支店・宅地建物取引業等のサービス業用店舗のみ。 ③ 2階以下。 ④ 物品販売店舗、飲食店を除く
店舗等の床面積が 150㎡を超え、500㎡以下のもの		②	③	○	○	○	○	○	○	○	④	
店舗等の床面積が 500㎡を超え、1,500㎡以下のもの			③	○	○	○	○	○	○	○	④	
店舗等の床面積が1,500㎡を超え、3,000㎡以下のもの				○	○	○	○	○	○	○	④	
店舗等の床面積が3,000㎡を超えるもの				○	○	○	○	○	○	○	④	
事務所等の床面積が 150㎡以下のもの			▲	○	○	○	○	○	○	○	○	▲ 2階以下
事務所等の床面積が 150㎡を超え、500㎡以下のもの			▲	○	○	○	○	○	○	○	○	
事務所等の床面積が 500㎡を超え、1,500㎡以下のもの			▲	○	○	○	○	○	○	○	○	
事務所等の床面積が1,500㎡を超え、3,000㎡以下のもの				○	○	○	○	○	○	○	○	
事務所等の床面積が3,000㎡を超えるもの				○	○	○	○	○	○	○	○	
ホテル、旅館				▲	○	○	○	○	○	○	○	▲ 3,000㎡以下
ボーリング場、スケート場、水泳場、ゴルフ練習場、バッティング練習場等				▲	○	○	○	○	○	○	○	▲ 3,000㎡以下
カラオケボックス等					○	○	○	○	○	○	○	
麻雀屋、ぱちんこ屋、射的場、馬券・車券売所等					○	○	○	○	○	○	○	
劇場、映画館、演芸場、観覧場							▲	▲	○	○	○	▲ 客席200㎡未満
キャバレー、ダンスホール等、個室付浴場等									○	▲	○	▲ 個室付浴場等を除く
幼稚園、小学校、中学校、高等学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大学、高等専門学校、専修学校等				○	○	○	○	○	○	○	○	
図書館等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
巡査派出所、一定規模以下の郵便局等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
神社、寺院、教会等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
病院				○	○	○	○	○	○	○	○	
公共浴場、診療所、保育所等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
老人ホーム、身体障害者福祉ホーム等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
老人福祉センター、児童厚生施設等	▲	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲ 600㎡以下
自動車教習所				▲	○	○	○	○	○	○	○	▲ 3,000㎡以下
単独車庫（附属車庫を除く）			▲	▲	▲	○	○	○	○	○	○	▲ 300㎡以下 2階以下
建築物附属自動車庫 ①②③については、建築物の延べ面積の1/2以下かつ構造に記載の制限	①	①	②	②	③	③	○	○	○	○	○	① 600㎡以下 1階以下 ② 3,000㎡以下 2階以下 ③ 2階以下
倉庫等倉庫							○	○	○	○	○	
畜舎（15㎡を超えるもの）				▲	○	○	○	○	○	○	○	▲ 3,000㎡以下
パン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋、洋服店、畳屋、建具屋、自転車店等で作業場の床面積が50㎡以下	▲	▲	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	原動機の制限あり、▲ 2階以下
危険性や環境を悪化させるおそれが少ない工場				①	①	①	②	②	○	○	○	原動機・作業内容の制限あり 作業場の床面積 ① 50㎡以下 ② 150㎡以下
危険性や環境を悪化させるおそれが少ない工場							②	②	○	○	○	
危険性や環境を悪化させるおそれがやや多い工場									○	○	○	
危険性が大きい又は著しく環境を悪化させるおそれがある工場												
自動車修理工場				①	①	②	③	③	○	○	○	作業場の床面積 ① 50㎡以下 ② 150㎡以下 ③ 300㎡以下 原動機の制限あり
火薬、石油類、ガスなどの危険物の貯蔵・処理の量	量が非常に少ない施設			①	②	○	○	○	○	○	○	① 1,500㎡以下 2階以下 ② 3,000㎡以下
	量が少ない施設							○	○	○	○	
	量がやや多い施設								○	○	○	
	量が多い施設									○	○	
卸売市場、火葬場、と畜場、汚物処理場、ごみ焼却場等												都市計画区域内においては都市計画決定が必要

注）本表は、改正後の建築基準法別表第二の概要であり、すべての制限について掲載したものではありません。

建設省（現国土交通省）：平成4年都市計画法及び建築基準法の改正による
 新用途地域制度について（パンフレット）から抜粋

中学校の昼食に関するアンケート調査

報告書

平成28年 1月

向日市教育委員会

目 次

■ 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	有効回答数	1
6	報告書の見方	1

■ 調査結果

1	中学校で希望する昼食の形態	2
2	希望する昼食形態の理由	3
3	中学校給食に期待すること	17
4	家庭の弁当の持参状況	21
5	弁当を持って来ない日の昼食の状況	23
6	朝食の摂取状況	24
7	中学校給食実施にあたっての課題	26
8	食育に対する考え	27

■ 資料編（調査票様式）

(1)	『児童用』調査票見本	28
(2)	『生徒用』調査票見本	32
(3)	『小学生保護者用』調査票見本	37
(4)	『中学生保護者用』調査票見本	41
(5)	『中学校教職員用』調査票見本	46

調査の概要

1 調査目的

本調査は、児童・生徒とその保護者及び中学校教職員の中学校の昼食に関する意識と実態を把握し、今後の中学校給食の導入に向けた検討資料とすることを目的とする。

2 調査対象

- ① 小学校4年生から6年生までの児童
- ② 中学校1年生から3年生までの生徒
- ③ 小学校4年生から6年生までの保護者
- ④ 中学校1年生から2年生までの保護者
- ⑤ 中学校教職員

3 調査方法

- ① 児童・生徒については、各学校で実施・回収
- ② 保護者については、学校を通じて配布、実施・回収
- ③ 中学校教職員については、各学校で実施・回収

4 調査期間

平成27年11月13日～11月19日

5 有効回答数

	有効回答数	配布数	回収率
① 児童	1,555 件	1,555 件	100%
② 生徒	1,419 件	1,419 件	100%
③ 小学生保護者	1,295 件	1,469 件	88.2%
④ 中学生保護者	850 件	961件	88.4%
⑤ 中学校教職員	96 件	96 件	100%

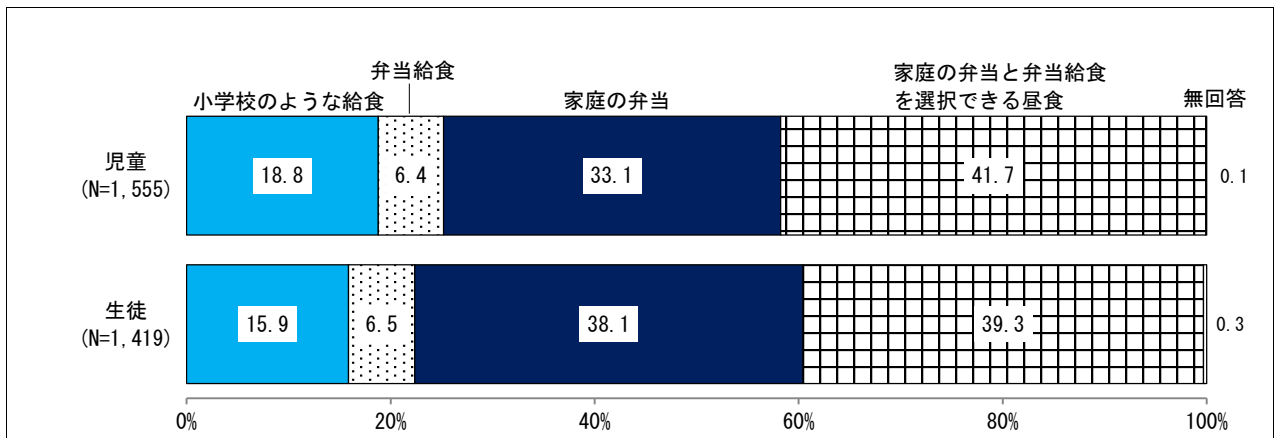
6 報告書の見方

- (1) 図中のN (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。
- (2) 回答比率 (%) は回答者数 (N) を 100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。そのため、四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は 100%を超える。

調査結果

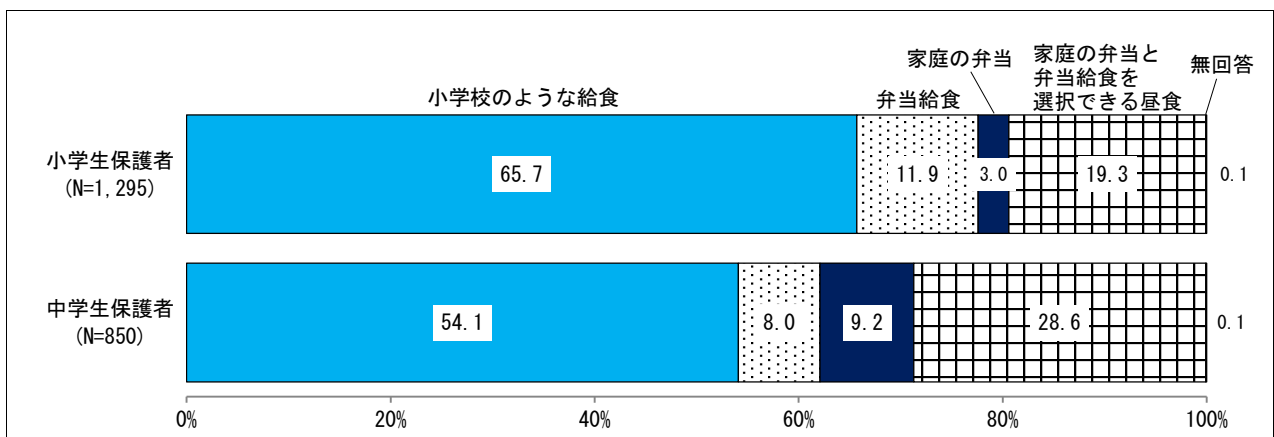
1 中学校で希望する昼食の形態

■ 児童・生徒 <単一回答>



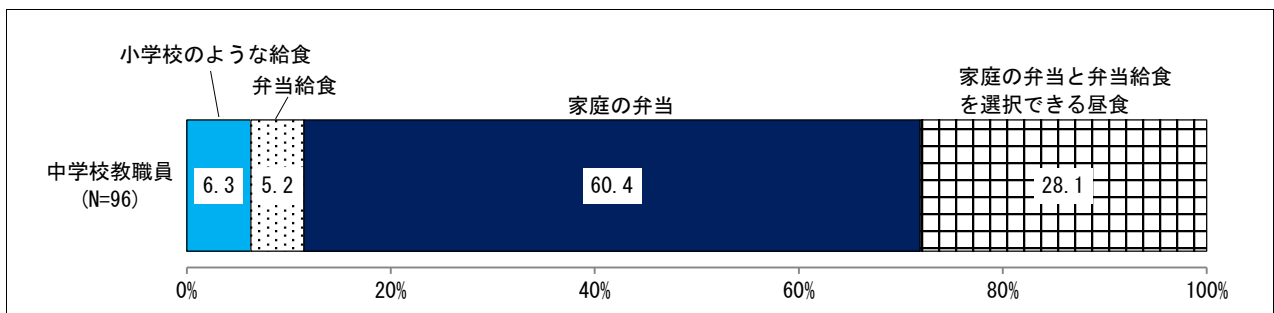
児童・生徒が中学校で希望する昼食形態としては、ともに「家庭の弁当と弁当給食を選べる昼食」が最も高く、児童で41.7%、生徒で39.3%となっている。

■ 保護者 <単一回答>



保護者が中学校で希望する昼食形態としては、ともに「小学校のような給食」が過半数を占めており、小学生保護者で6割台(65.7%)、中学生保護者で5割台(54.1%)となっている。

■ 中学校教職員 <単一回答>

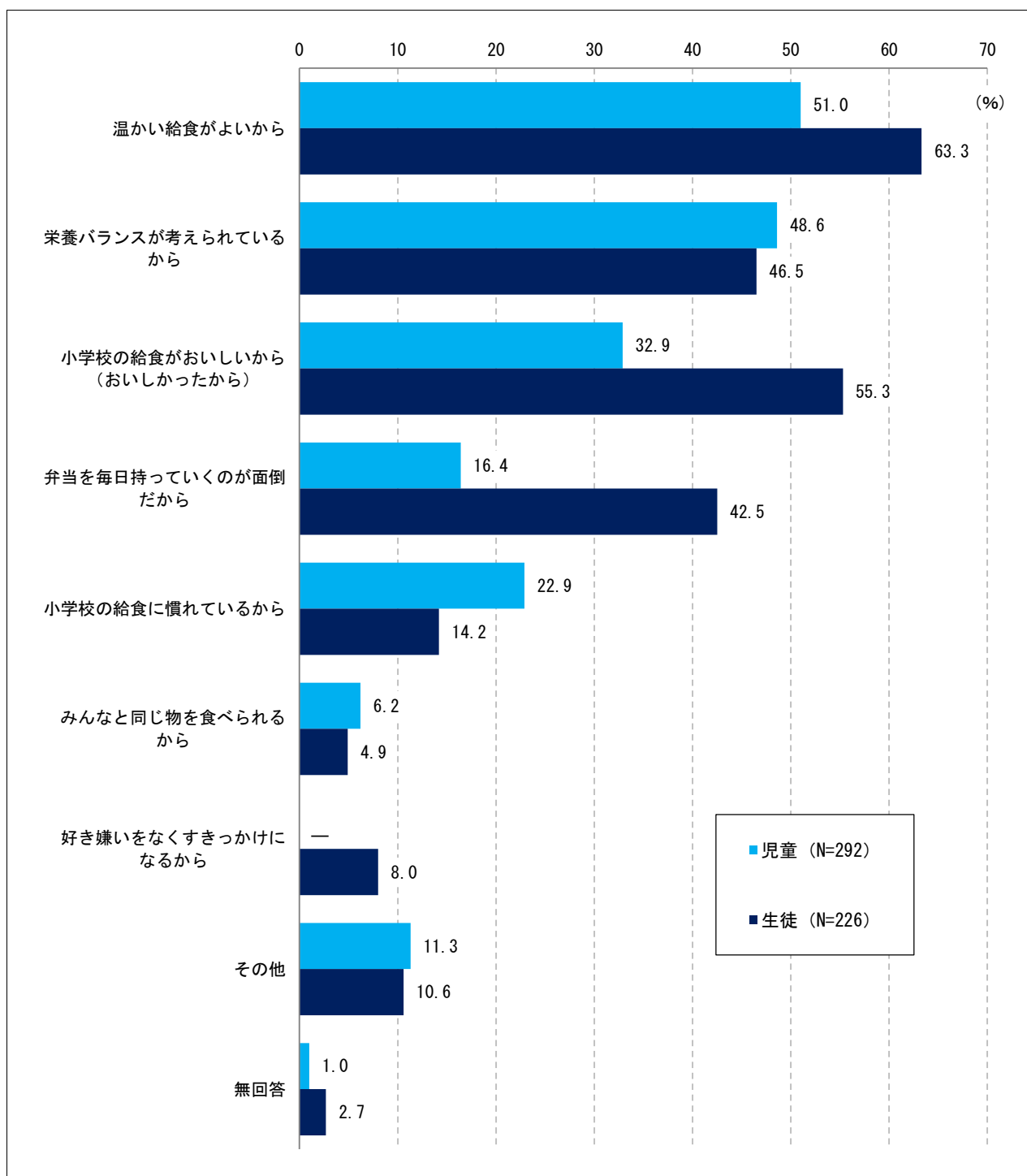


中学校教職員が希望する昼食形態としては、「家庭の弁当」が約6割(60.4%)を占める。

2 希望する昼食形態の理由

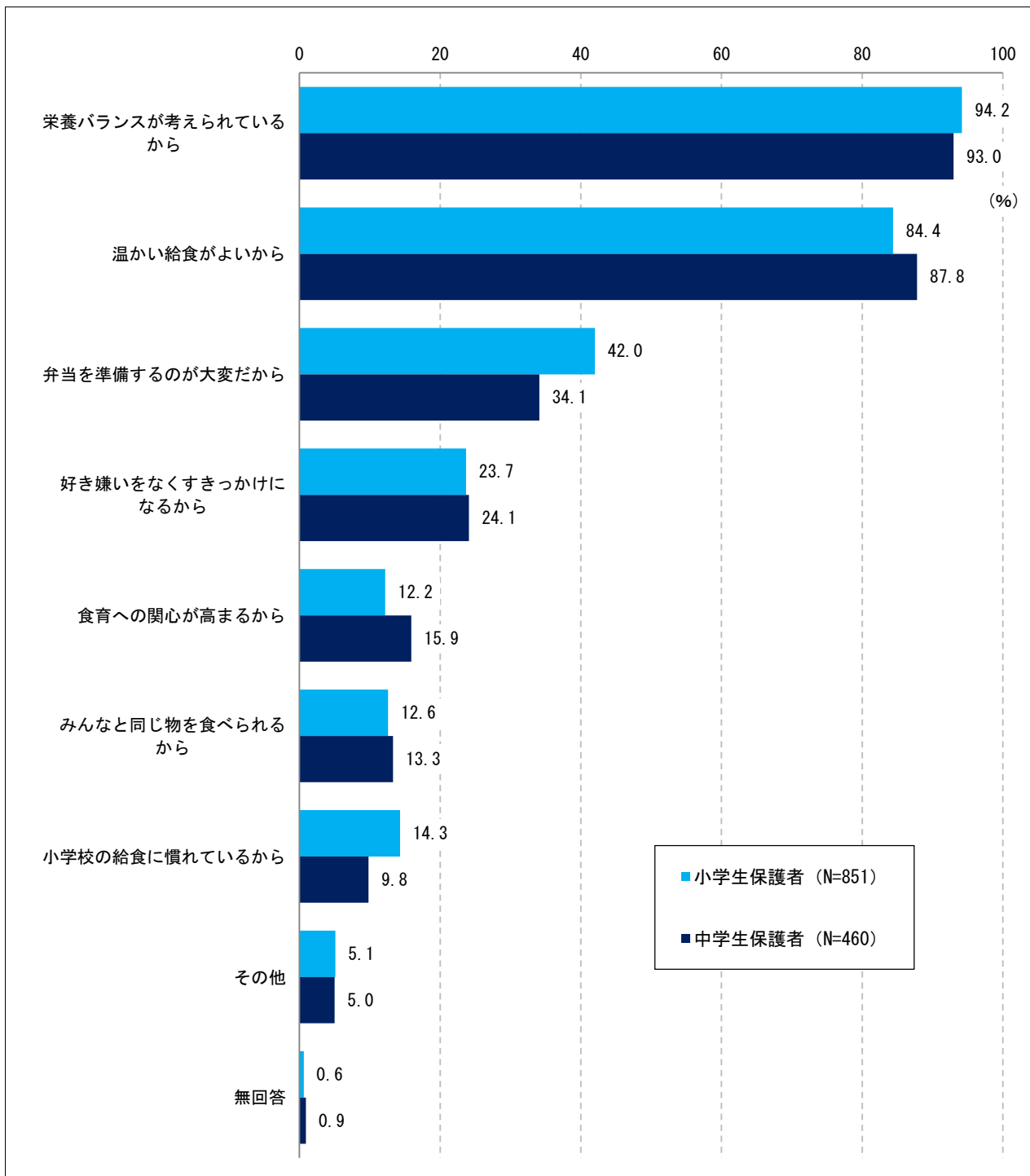
(1) 『小学校のような給食』が良い理由

■ 児童・生徒 <複数回答（児童は2つまで、生徒は3つまで選択可）>



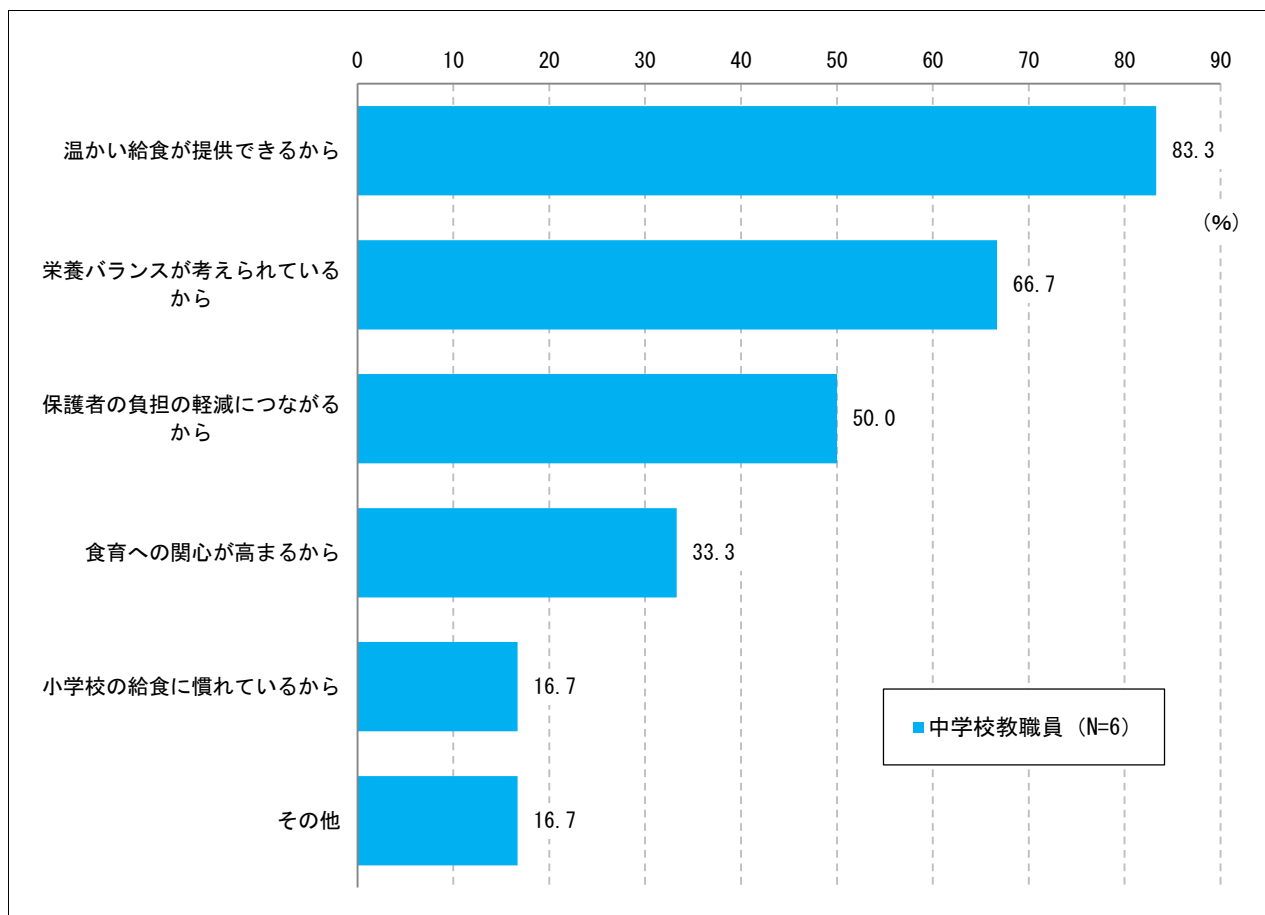
中学校の昼食形態として『小学校のような給食』が良いと答えた児童・生徒の理由としては、ともに「温かい給食がよいから」が最も高く、児童で51.0%、生徒で63.3%となっている。これに続くのが、児童では「栄養バランスが考えられているから」で48.6%、生徒では「小学校の給食がおいしかったから」で55.3%となっている。

■ 保護者 <複数回答（3つまで選択可）>



中学校の昼食形態として『小学校のような給食』が良いと答えた保護者の理由としては、「栄養バランスが考えられているから」が9割台と最も高く、次いで「温かい給食がよいから」が8割台、「弁当を準備するのが大変だから」が3～4割台となっている。

■ 中学校教職員 <複数回答（3つまで選択可）>



中学校の昼食形態として『小学校のような給食』が良いと答えた中学校教職員の理由としては、「栄養バランスが考えられているから」が83.3%などとなっている。

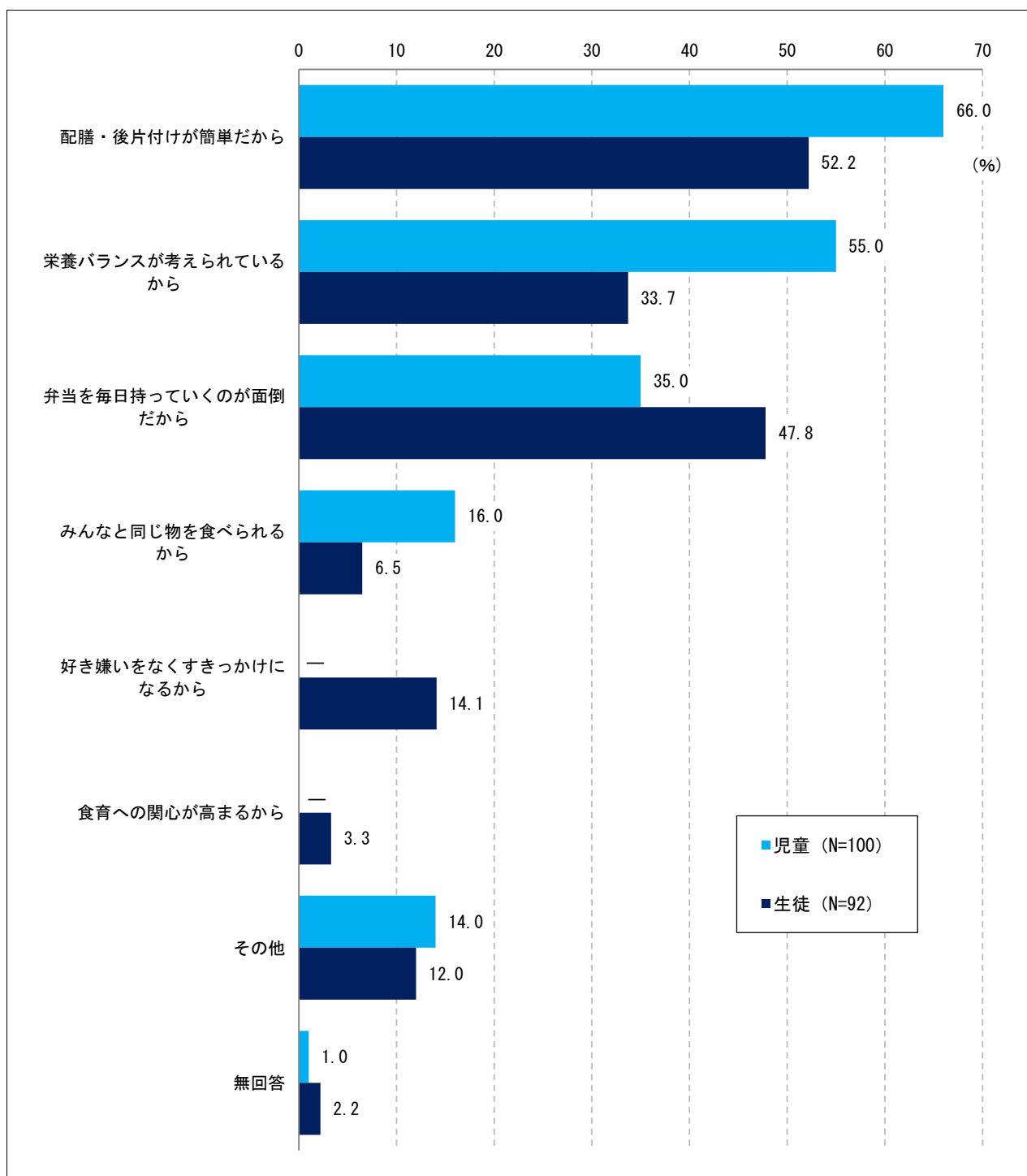
※ 「小学校のような給食が良い理由」その他記入内容

(件)

	計	児童	生徒	小学生保護者	中学生保護者	中学校教職員
親が弁当を作るのが大変だから（負担が減るから）	30	21	8	1	0	0
衛生面や食材の安全性等で安心できるから	22	1	1	14	6	0
食べる量を調節できるから、おかわりができるから	13	2	4	3	4	0
給食がおいしいから、好きだから	13	0	1	9	3	0
教育の一環やコミュニケーションの場になると思うから	12	3	0	6	3	0
栄養面に偏りが無いから、メニューが豊富だから	10	1	1	3	4	1
自分（親）自身が中学校給食だったから	2	0	0	2	0	0
その他	25	5	10	7	3	0

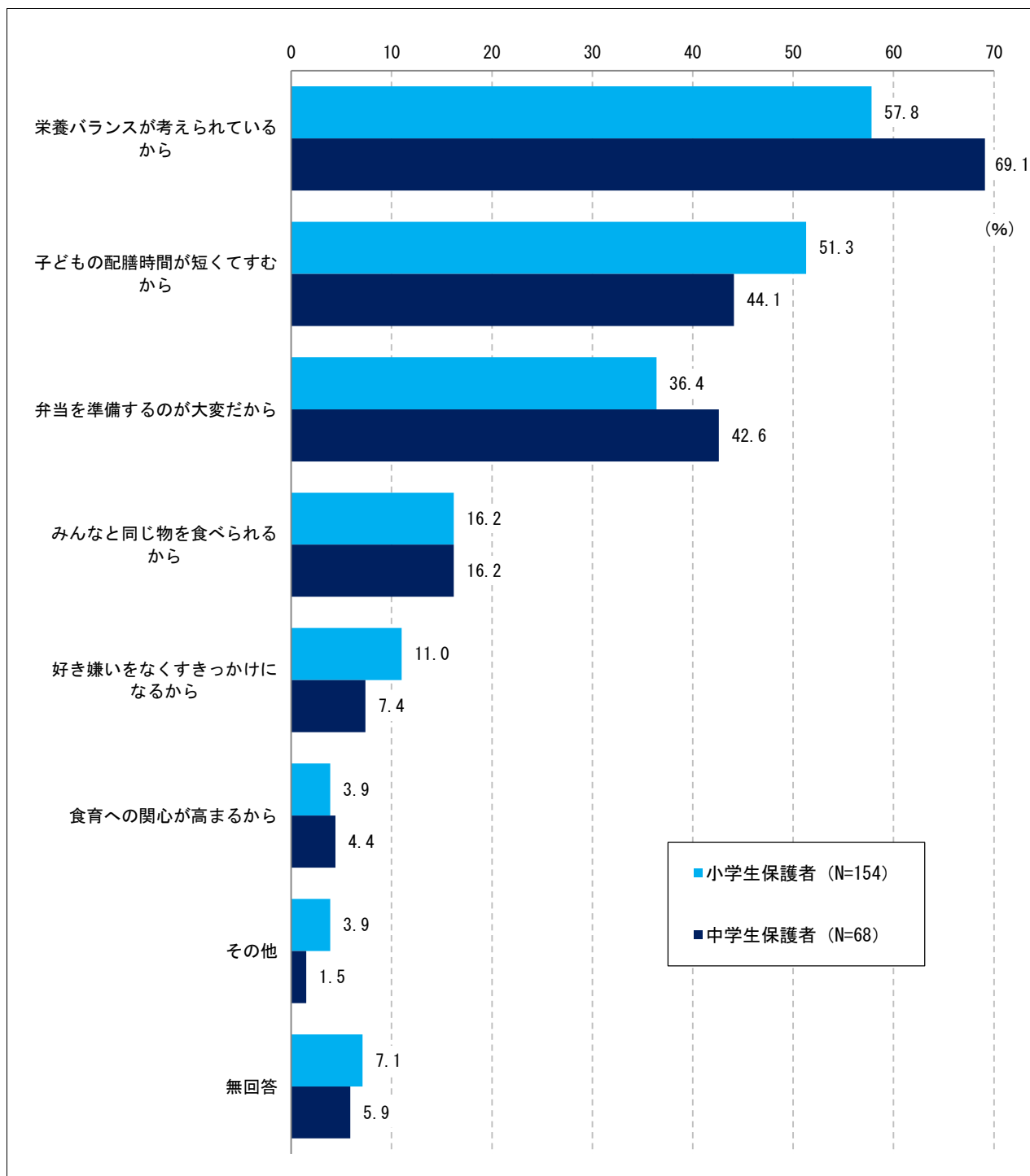
(2) 『弁当給食』が良い理由

■ 児童・生徒 <複数回答(2つまで選択可)>



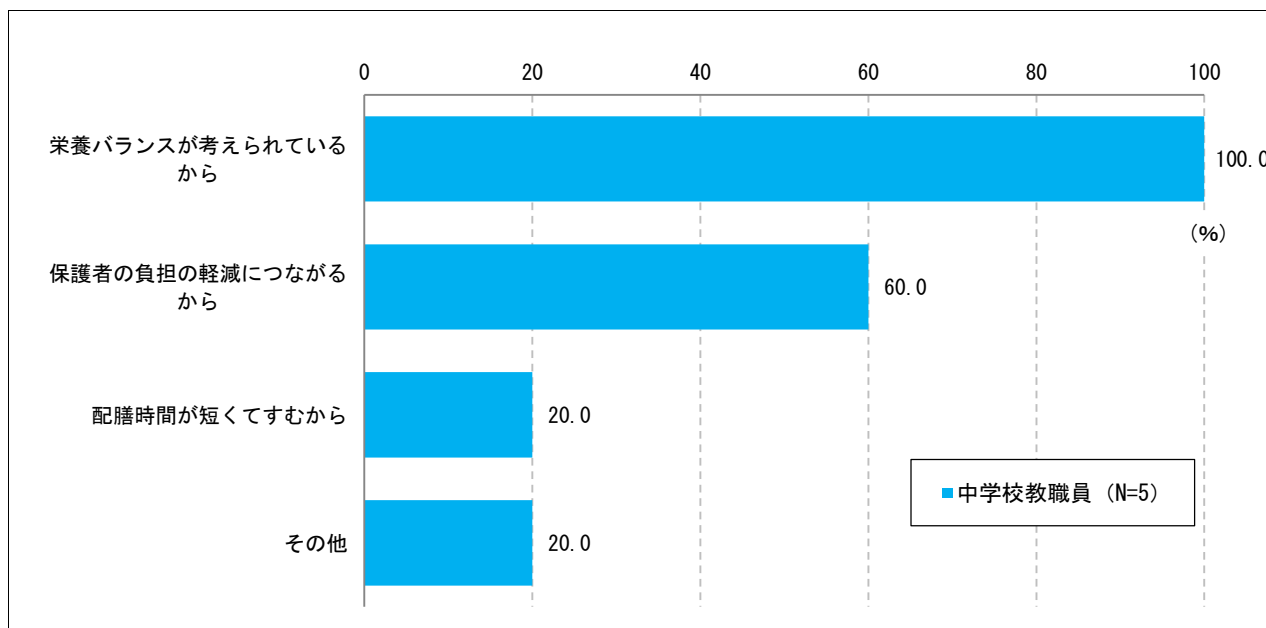
中学校の昼食形態として『弁当給食』が良いと答えた児童・生徒の理由としては、ともに「配膳・後片付けが簡単だから」が最も高く、児童で6割台(66.0%)、生徒で5割強(52.2%)となっている。これに続くのが、児童では「栄養バランスが考えられているから」で55.0%、生徒では「弁当を毎日持っていくのが面倒だから」で47.8%となっている。

■ 保護者 <複数回答（2つまで選択可）>



中学校の昼食形態として『弁当給食』が良いと答えた保護者の理由としては、ともに「栄養バランスが考えられているから」が最も高く、中学生保護者で約7割（69.1%）、小学生保護者で6割弱（57.8%）となっている。また、これに続くのが、ともに「子どもの配膳時間が短くてすむから」で4～5割台、「弁当を準備するのが大変だから」で3～4割台となっている。

■ 中学校教職員 <複数回答（2つまで選択可）>



中学校の給食形態として『弁当給食』が良いと答えた中学校教職員の理由としては、「栄養バランスが考えられているから」が100%などとなっている。

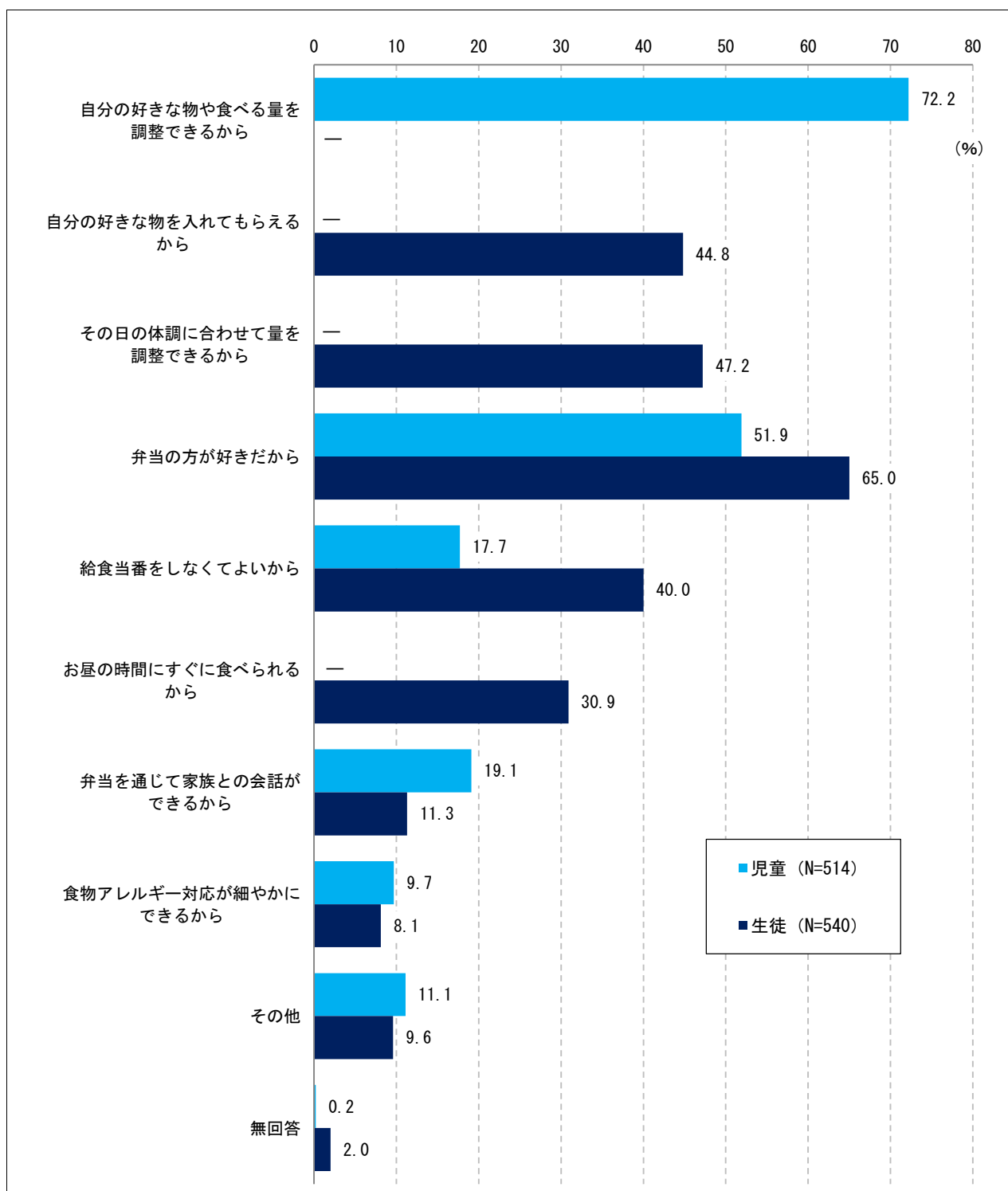
※ 「弁当給食が良い理由」その他記入内容

(件)

	計	児童	生徒	小学生 保護者	中学生 保護者	中学校 教職員
親が弁当を作るのが大変だから（負担が減るから）	11	6	5	0	0	0
配膳や後片付け等での不公平がなくなるから	3	1	0	2	0	0
弁当がおいしいから、好きだから	2	0	2	0	0	0
すぐに食べられるから	2	2	0	0	0	0
その他	15	5	4	4	1	1

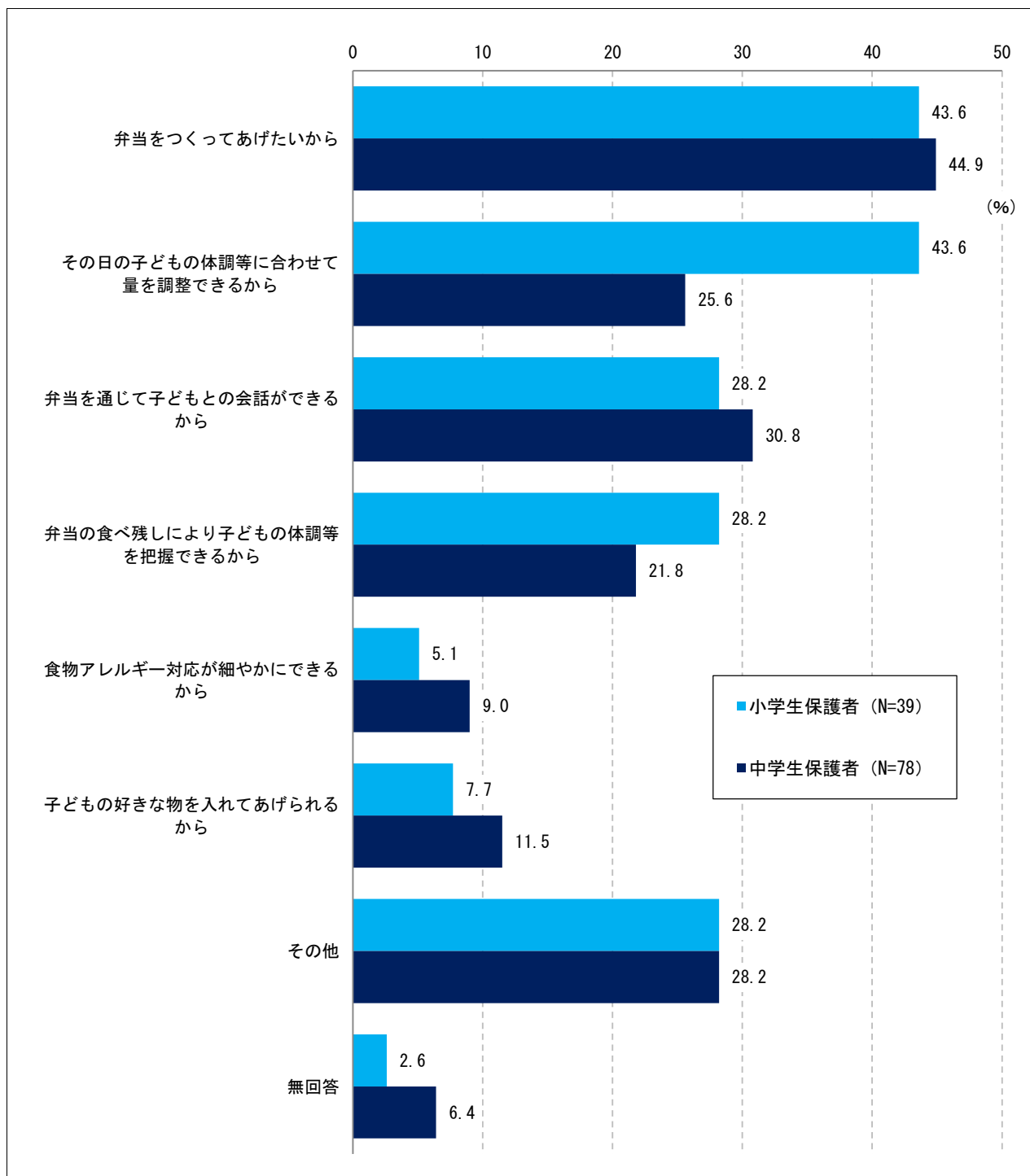
(3) 『家庭の弁当』が良い理由

■ 児童・生徒 <複数回答(2つまで選択可)>



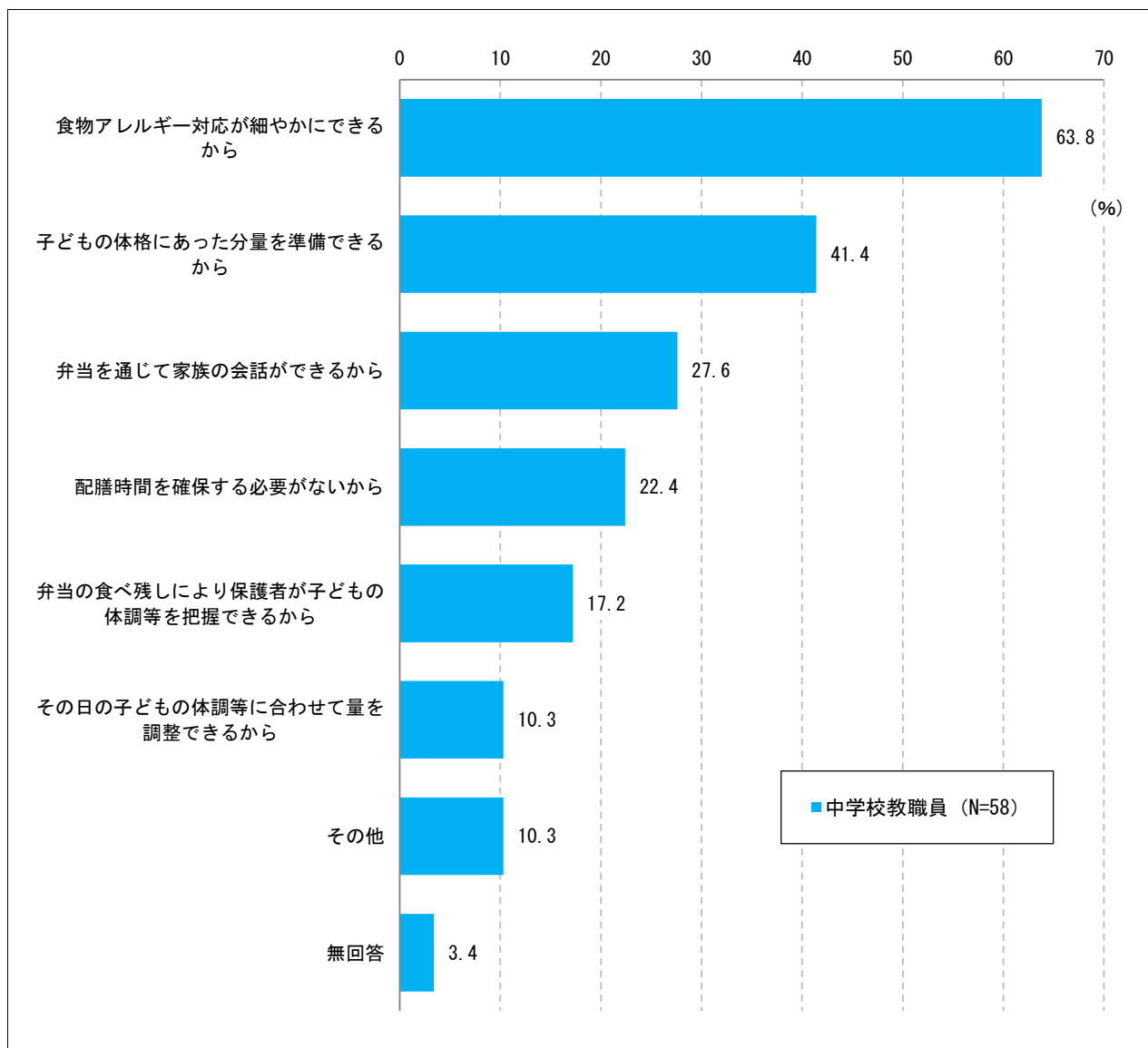
中学校の昼食形態として『家庭の弁当』が良いと答えた理由としては、児童では「自分の好きな物や食べる量を調整できるから」が7割強（72.2%）と最も高く、次いで「弁当の方が好きだから」が51.9%となっている。一方、生徒では「弁当の方が好きだから」が6割台（65.0%）と最も高く、次いで「その日の体調に合わせて量を調整できるから」が47.2%、「自分の好きな物を入れてもらえるから」が44.8%となっている。

■ 保護者 <複数回答（2つまで選択可）>



中学校の昼食形態として『家庭の弁当』が良いと答えた理由としては、小学生保護者では「弁当をつくってあげたいから」及び「その日の子どもの体調等に合わせて量を調整できるから」がともに4割台（43.6%）と最も高くなっている。一方、中学生保護者では「弁当をつくってあげたいから」が4割台（44.9%）と最も高く、次いで「弁当を通じて子どもとの会話ができるから」が30.8%となっている。

■ 中学校教職員 <複数回答（2つまで選択可）>



中学校の昼食形態として『家庭の弁当』が良いと答えた中学校教職員の理由としては、「食物アレルギー対応が細やかにできるから」が6割台（63.8%）と最も高く、次いで「子どもの体格にあった分量を準備できるから」が41.4%、「弁当を通じて家族の会話ができるから」が27.6%となっている。

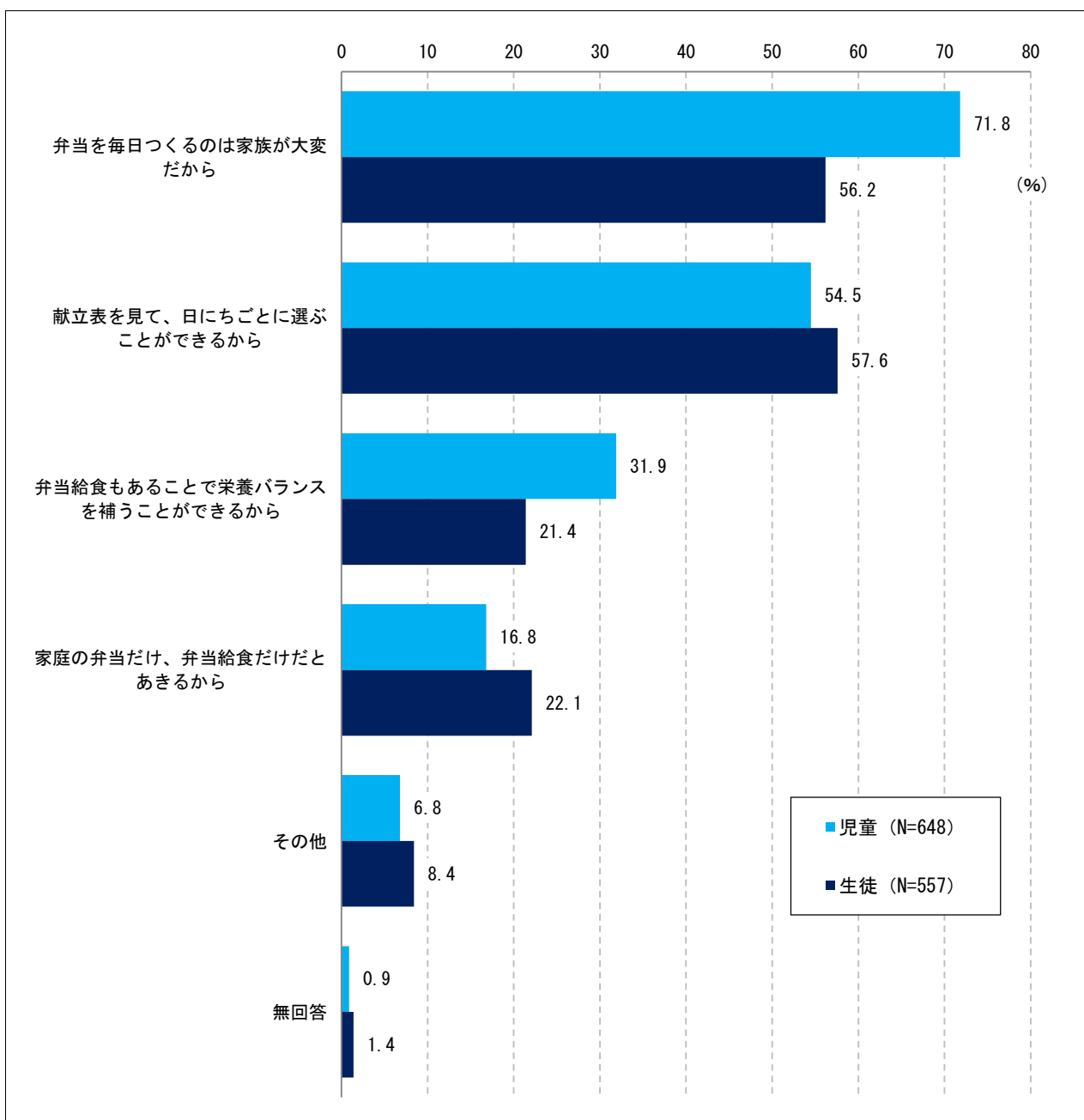
※ 「家庭の弁当が良い理由」その他記入内容

(件)

	計	児童	生徒	小学生 保護者	中学生 保護者	中学校 教職員
家（お母さん）のごはんが食べたいから、子どもが弁当を望むから	26	13	3	0	10	0
給食は食べられないもの（嫌いなもの）が出るから	19	6	12	0	1	0
給食費を払わなくていいから（安く済むから）	15	8	3	1	2	1
給食がおいしくないから（弁当のほうがおいしいから）	14	4	10	0	0	0
給食での問題や食材の安全性等が不安だから	14	2	6	3	3	0
親の愛情を感じられるから（親として作ってあげたいから）	10	3	2	3	1	1
自分で作ってみたいから、料理が上手になるから	9	9	0	0	0	0
食べる量を調節できるから	9	2	5	2	0	0
きょうだいの分の弁当を作る必要があるため	4	2	0	0	2	0
当番制等での不公平やトラブルがあるから	4	0	2	0	1	1
弁当を通じてコミュニケーションの場になるから	4	1	1	1	1	0
給食費を払わない家庭への不満が出てくるから	4	0	0	1	1	2
好きなメニューを選べるから	3	1	1	0	1	0
準備（配膳）や後片付けに時間がかからない（早く食べ終わる）から	3	1	1	0	1	0
校内販売やコンビニ等のパンなどが食べたいから	2	1	1	0	0	0
税金の無駄使いだから	2	0	2	0	0	0
家庭の状況が確認できるから	2	0	0	0	0	2
その他	5	3	2	0	0	0
特になし、なんとなく	5	1	4	0	0	0

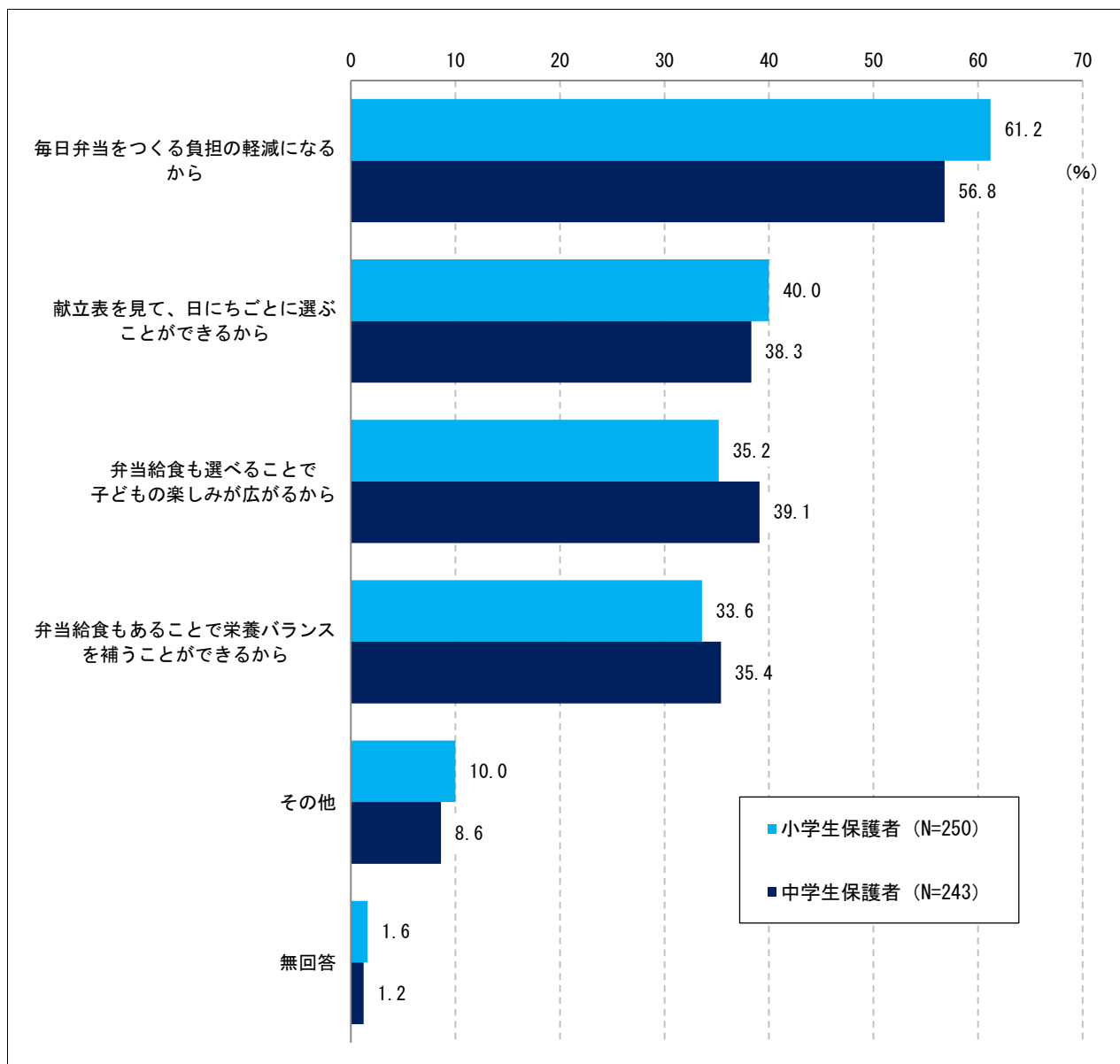
(4) 『選択できる昼食』が良い理由

■ 児童・生徒 <複数回答(2つまで選択可)>



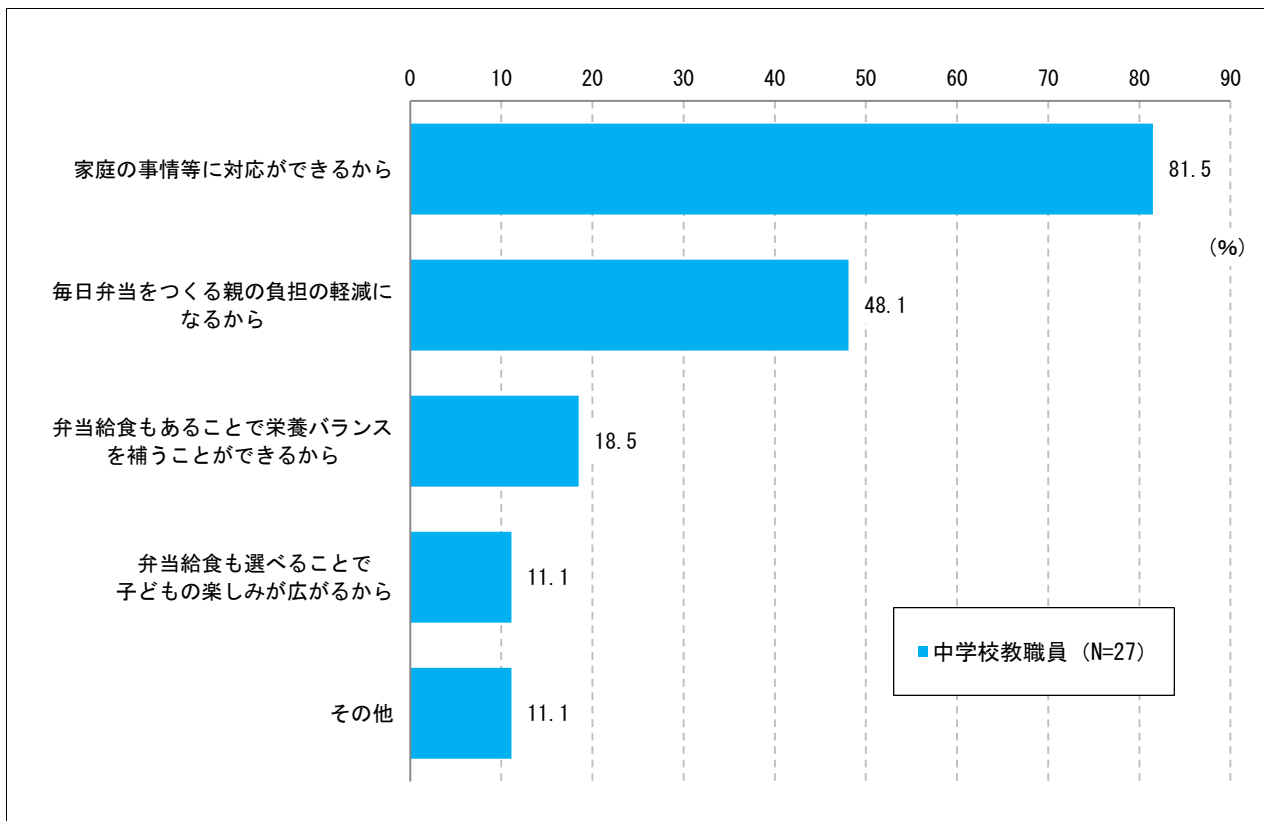
中学校の昼食形態として『選択できる昼食』が良いと答えた理由としては、児童では「弁当を毎日つくるのは家族が大変だから」が7割強(71.8%)、生徒では「献立表を見て、日にちごとに選ぶことができるから」が6割弱(57.6%)と、それぞれ最も高くなっている。

■ 保護者 <複数回答（2つまで選択可）>



中学校の昼食形態として『選択できる昼食』が良いと答えた保護者の理由としては、ともに「毎日弁当をつくる負担の軽減になるから」が最も高く、小学生保護者で6割強(61.2%)、中学生保護者で5割台(56.8%)となっている。これに続くのが、小学生保護者では「献立表を見て、日にちごとに選ぶことができるから」で40.0%、中学生保護者では「弁当給食も選べることで子どもの楽しみが広がるから」で39.1%となっている。

■ 中学校教職員 <複数回答（2つまで選択可）>



中学校の昼食形態として『選択できる昼食』が良いと答えた中学校教職員の理由としては、「家庭の事情等に対応できるから」が8割強（81.5%）と最も高く、次いで「毎日弁当をつくる親の負担の軽減になるから」が48.1%となっている。

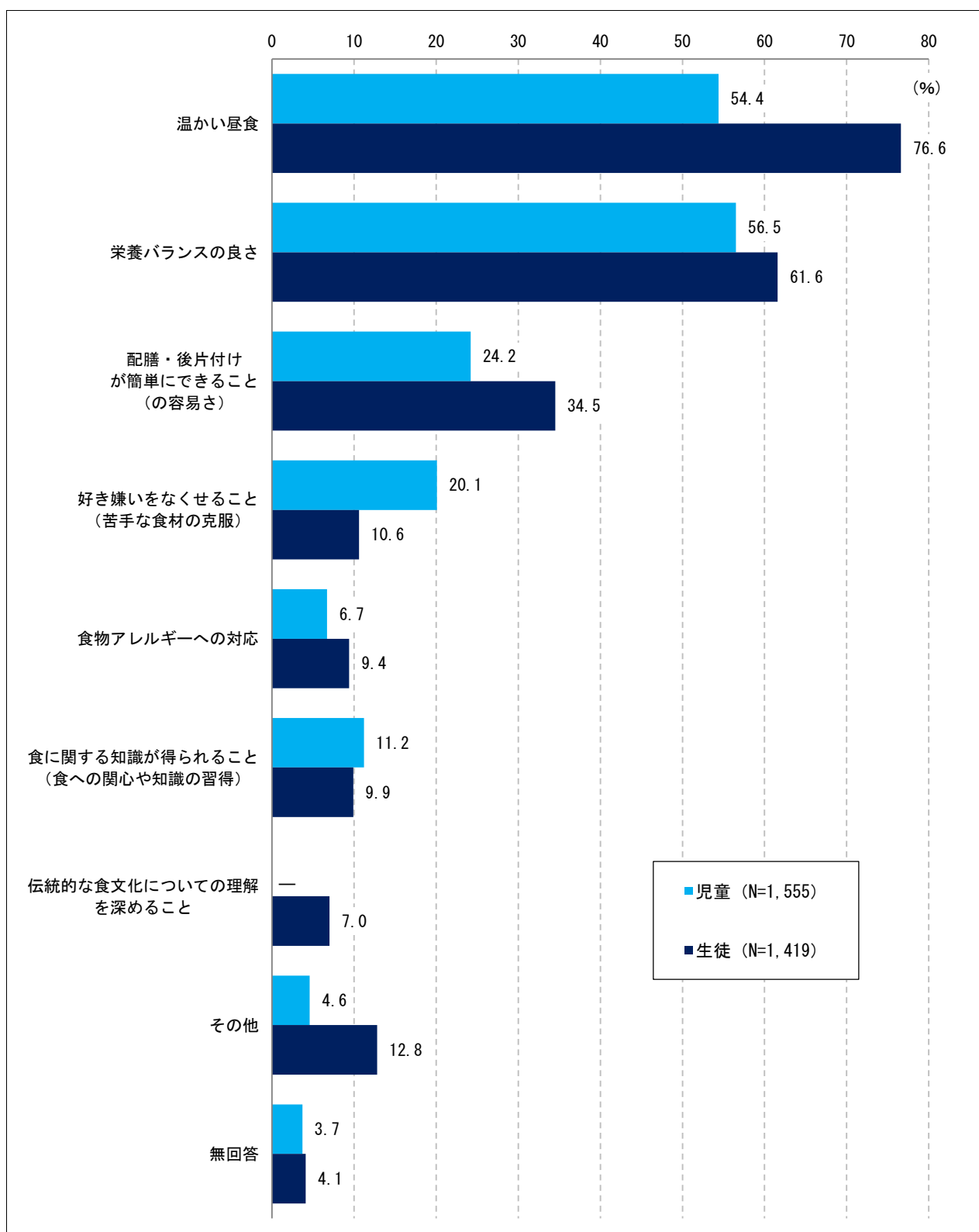
※「選択できる昼食が良い理由」その他記入内容

(件)

	計	児童	生徒	小学生 保護者	中学生 保護者	中学校 教職員
日によって選べるから、個人の希望が分かれるから	31	10	16	2	3	0
弁当を作れない日や忘れた日があったときに便利だから	19	5	5	4	5	0
各家庭の都合や事情に合わせてられるから	13	2	2	3	6	0
アレルギー等にも柔軟に対応できるから	12	4	1	4	3	0
好き嫌いに対応できるから	12	6	6	0	0	0
子どもによって量が異なるから（給食だけでは足りない子ども いるから）	8	1	3	3	0	1
温かいごはんが食べたいから	5	2	2	0	1	0
栄養面の偏りがなくなるから、家庭では作らないメニューが あるから	5	1	3	0	1	0
家で作ったものを食べたい（弁当を作ってあげたい）から	4	2	1	1	0	0
給食の安全性等が不安だから	4	2	0	1	1	0
体調や食欲に合わせて量を調節できるから	4	0	3	1	0	0
夏場などは衛生面で給食のほうが安心できるから	4	0	0	2	2	0
親の負担が減るから	4	2	1	1	0	0
（給食より）弁当のほうがおいしいから	3	2	1	0	0	0
家庭の弁当のほうが安く済むから、給食費用を選べるから	3	0	0	2	1	0
（子どもが）自分で作りたい日もあるため	2	1	0	1	0	0
きょうだい弁当だから	2	0	0	2	0	0
荷物が多い日などで弁当は負担になるから	2	0	1	0	1	0
配膳や後片付け等の時間が短くて済むから	2	2	0	0	0	0
その他	7	2	3	0	0	2

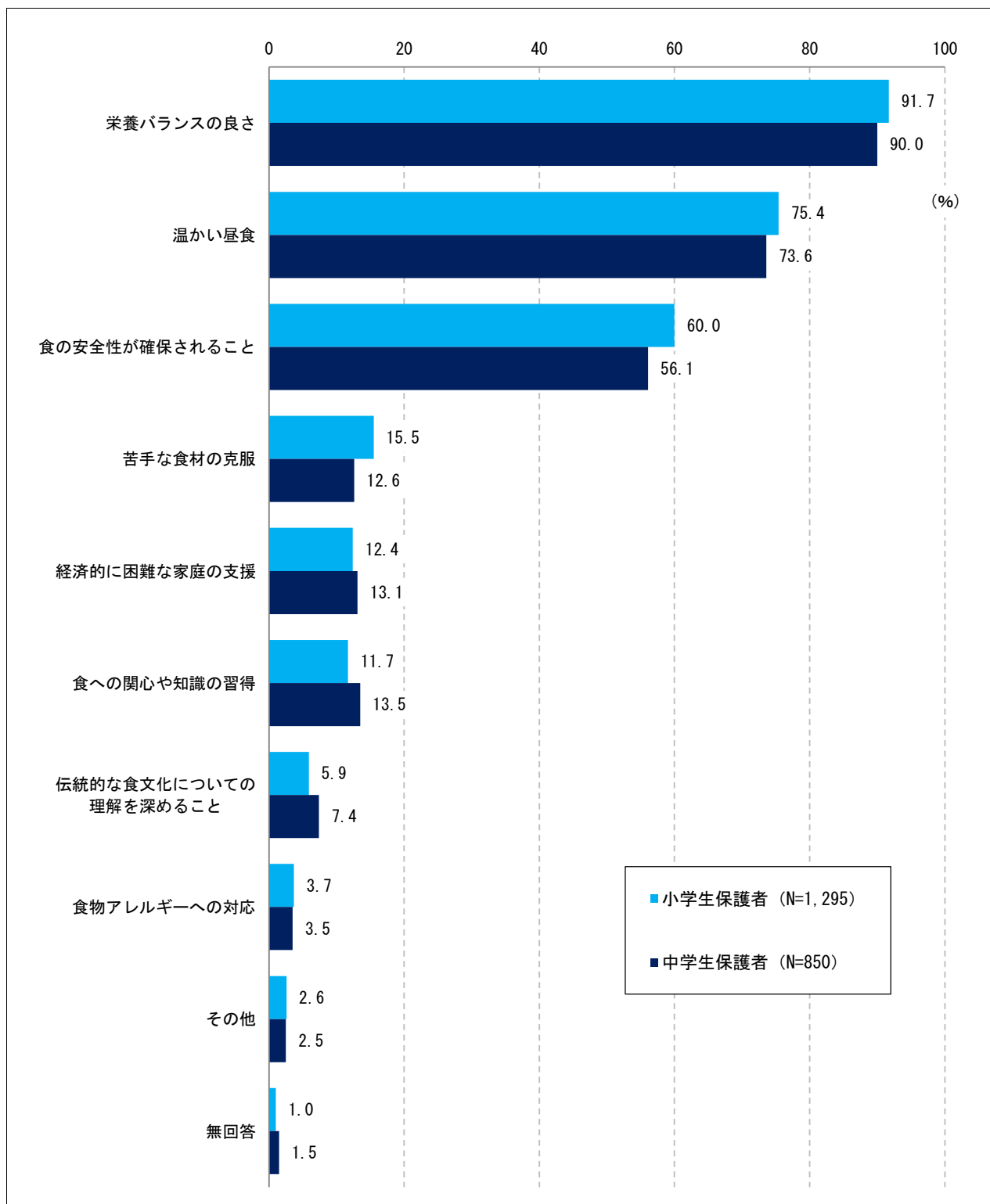
3 中学校給食に期待すること

■ 児童・生徒 <複数回答（児童は2つまで、生徒は3つまで選択可）>



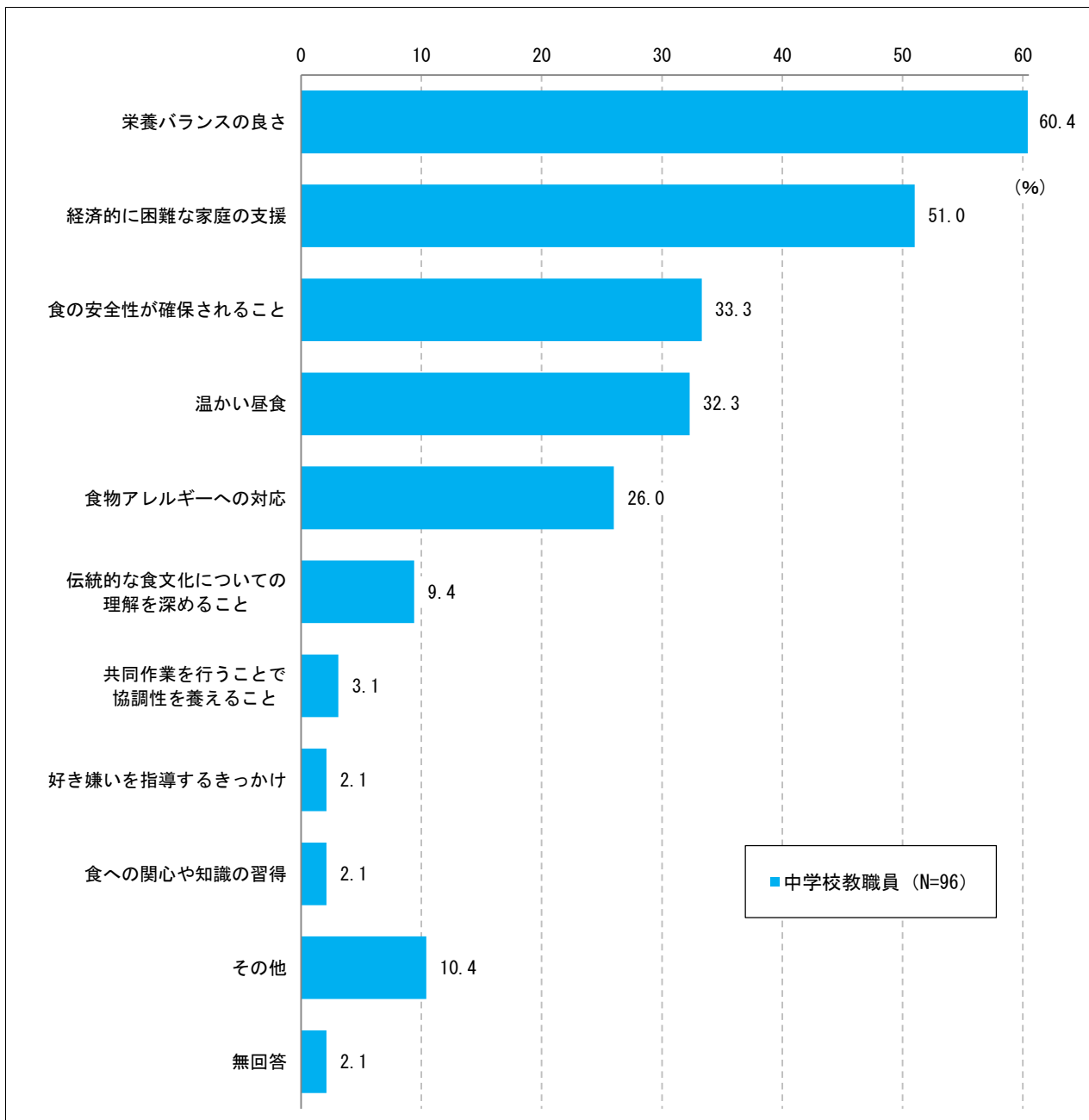
中学校給食に期待することとして、児童では「栄養バランスの良さ」が5割台（56.5%）、生徒では「温かい昼食」が7割台（76.6%）と、それぞれ最も高くなっている。

■ 保護者 <複数回答（3つまで選択可）>



保護者が中学校給食に期待することとしては、ともに「栄養バランスの良さ」が9割台と最も高く、次いで「温かい昼食」が7割台、「食の安全性が確保されること」が5～6割台となっている。

■ 中学校教職員 <複数回答（3つまで選択可）>



中学校教職員が中学校給食に期待することとしては、「栄養バランスの良さ」が約6割（60.4%）と最も高く、次いで「経済的に困難な家庭の支援」が51.0%、「食の安全性が確保されること」が33.3%、「温かい昼食」が32.3%となっている。

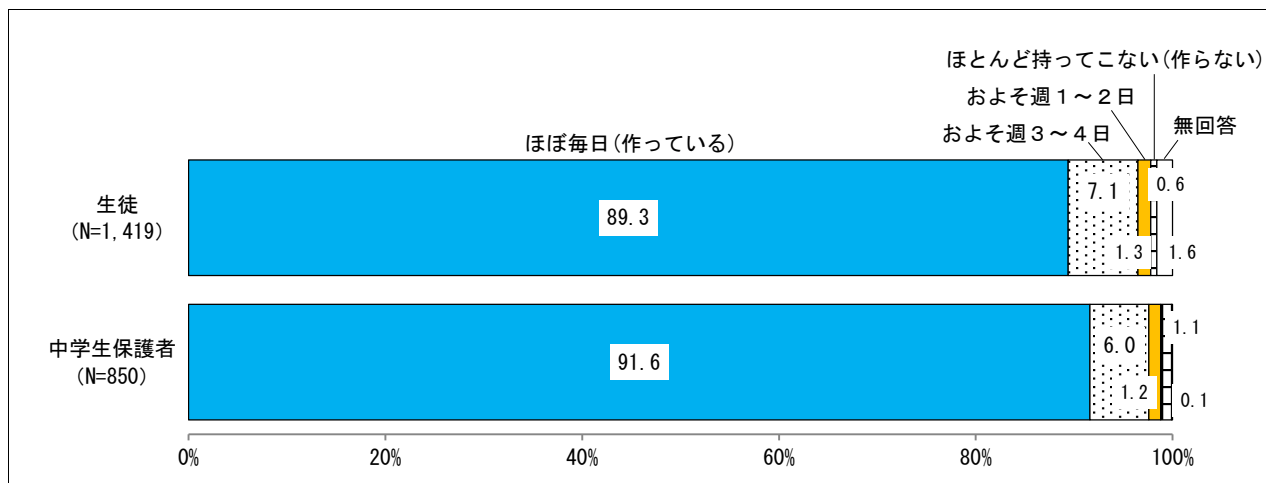
※「中学校給食に期待すること」その他記入内容

(件)

	計	児童	生徒	小学生 保護者	中学生 保護者	中学校 教職員
味（おいしさ）、質の良さ	100	23	68	5	2	2
子どもに応じた量、ボリューム	35	11	18	3	3	0
食の安全性、衛生面での安心	31	7	18	5	1	0
好きなものが出る（嫌いなものが出ない）	23	5	18	0	0	0
各家庭の都合・事情への対応、弁当を作る負担の軽減	22	6	2	10	3	1
豊富なメニュー、家庭では味わえないメニュー	13	4	7	1	1	0
給食を通じた教育	9	2	0	4	3	0
弁当分の荷物が減る（軽くなる）こと	5	2	3	0	0	0
準備（配膳）や後片付けが早く済むこと	5	1	4	0	0	0
栄養バランスの良さ	5	2	1	0	2	0
小学校のような給食	4	1	1	1	1	0
安価な給食費	4	2	2	0	0	0
料理の色どりや見た目の良さ	3	0	1	1	1	0
選択できる給食	2	1	1	0	0	0
手作りのもの	2	1	0	1	0	0
その他	11	3	6	0	1	1
中学校給食は必要ない	5	0	1	2	2	0
特に期待することはない	50	3	37	2	2	6

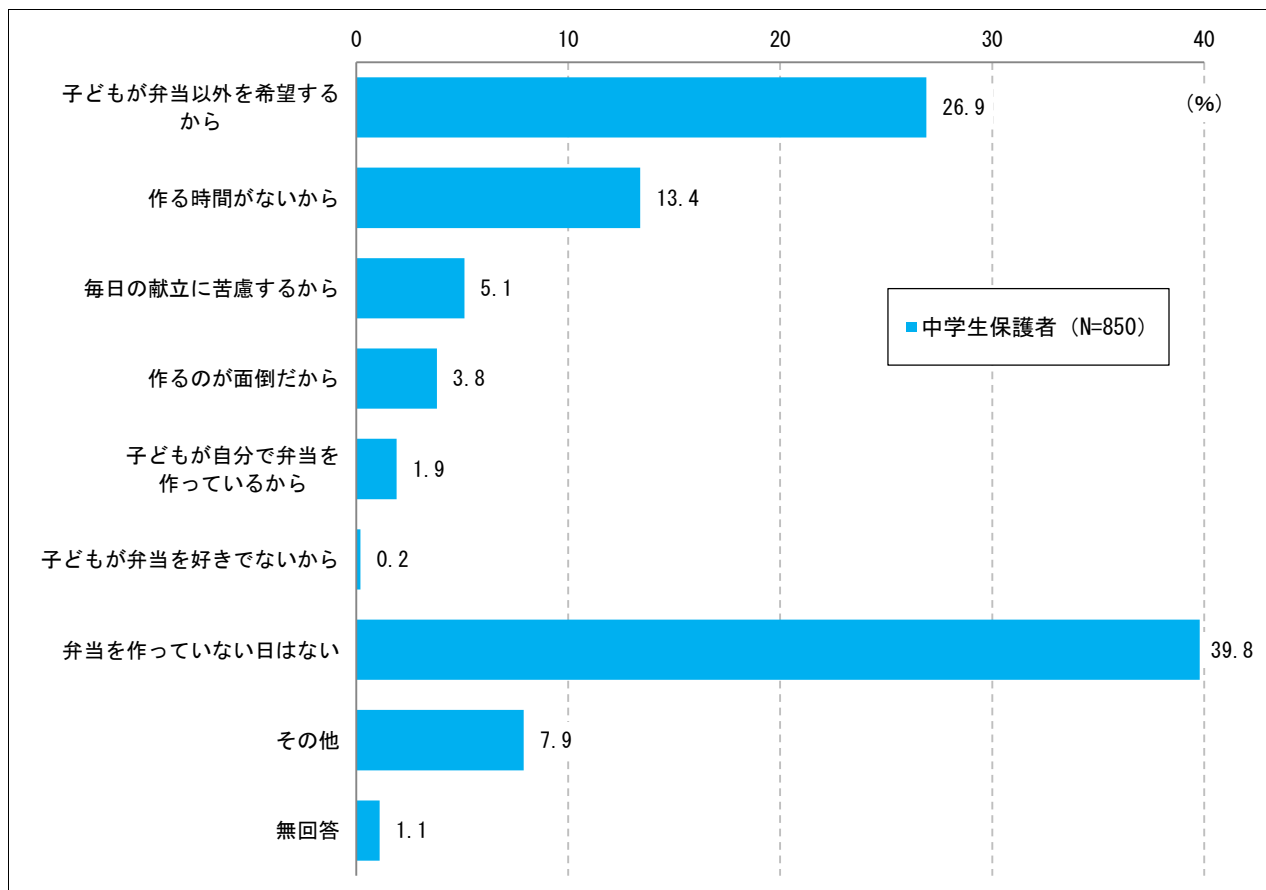
4 家庭の弁当の持参状況 [※生徒及び中学生保護者が対象]

(1) 家庭の弁当を持参する頻度 (子どもの弁当を作る頻度) <単一回答>



家庭の弁当について「ほぼ毎日(作っている)」という割合は生徒・保護者ともに9割前後を占めており、週4日以下の割合は生徒で9.0%、中学生保護者で8.3%みられる。

(2) 弁当を作っていない日がある理由 [※中学生保護者のみ] <単一回答>



子どもの弁当を作っていない日がある場合の理由としては、「子どもが弁当以外を希望するから」が26.9%と高く、次いで「作る時間がないから」が13.4%となっている。

※「弁当を作っていない日がある理由」その他記入内容

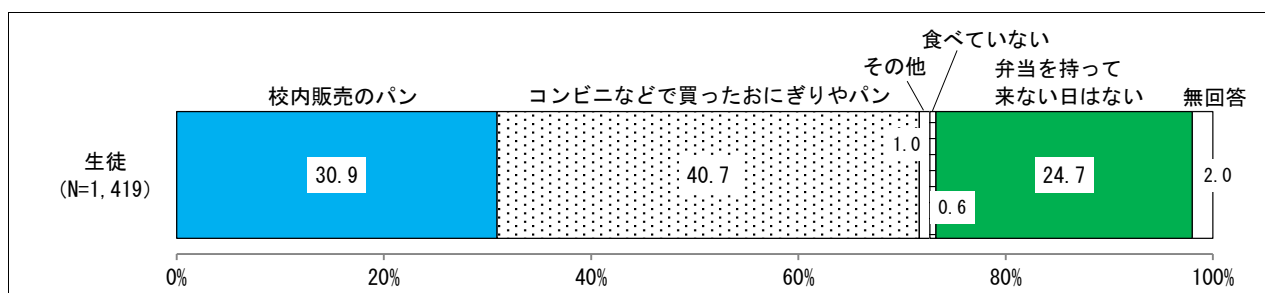
(件)

	中学生 保護者
体調不良のため	15
定期的にお弁当以外（パン食など）と決めている日があるため	12
ごはんの炊き忘れやおかずの買い忘れ等のため	11
寝坊してしまったため	7
仕事の都合や用事のため	6
部活の朝練がある日は子どもが早く出るため	4
学校で調理実習があるため	2
学校に行かない日があるため	2
その他	11

5 弁当を持って来ない日の昼食の状況 [※生徒及び中学生保護者が対象]

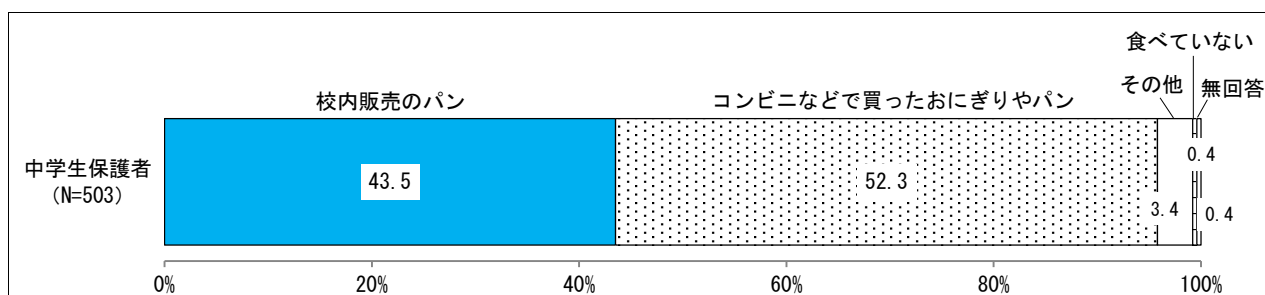
(1) 弁当を持って来ない日（作っていない日）の主な昼食

■ 生徒 <単一回答>



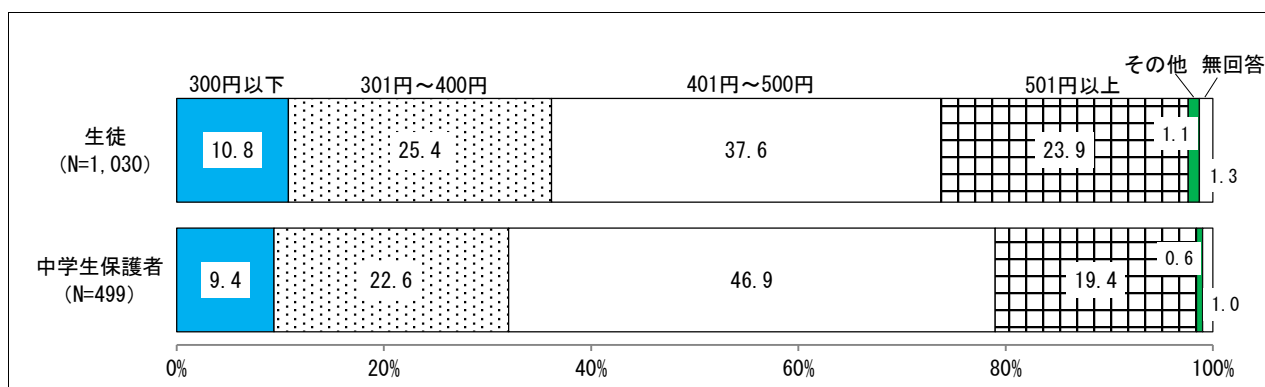
弁当を持って来ない日の主な昼食としては、「コンビニなどで買ったおにぎりやパン」(40.7%)が最も高く、次いで「校内販売のパン」(30.9%)となっている。

■ 中学生保護者 <単一回答>



弁当を作っていない日はない保護者を除いて、弁当を作っていない日の子どもの主な昼食としては、「コンビニなどで買ったおにぎりやパン」が過半数(52.3%)を占めており、次いで「校内販売のパン」が4割台(43.5%)となっている。

(2) 弁当を持って来ない日（作っていない日）の昼食代 <単一回答>

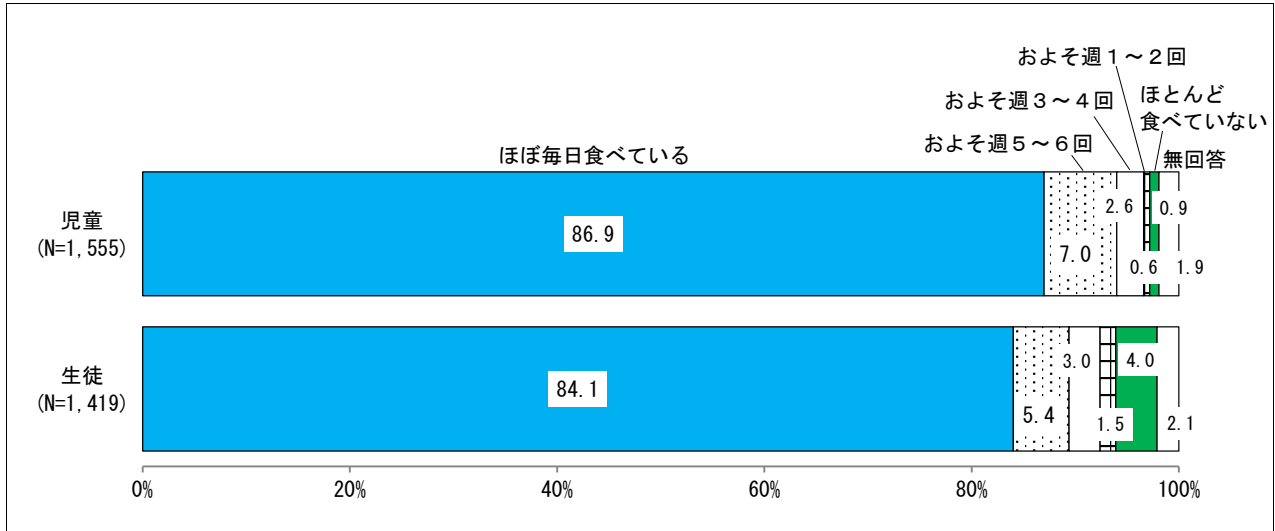


弁当を持って来ない日（作っていない日）の昼食代としては、ともに「401円～500円」が最も高く、生徒で4割弱(37.6%)、中学生保護者で4割台(46.9%)となっている。

6 朝食の摂取状況

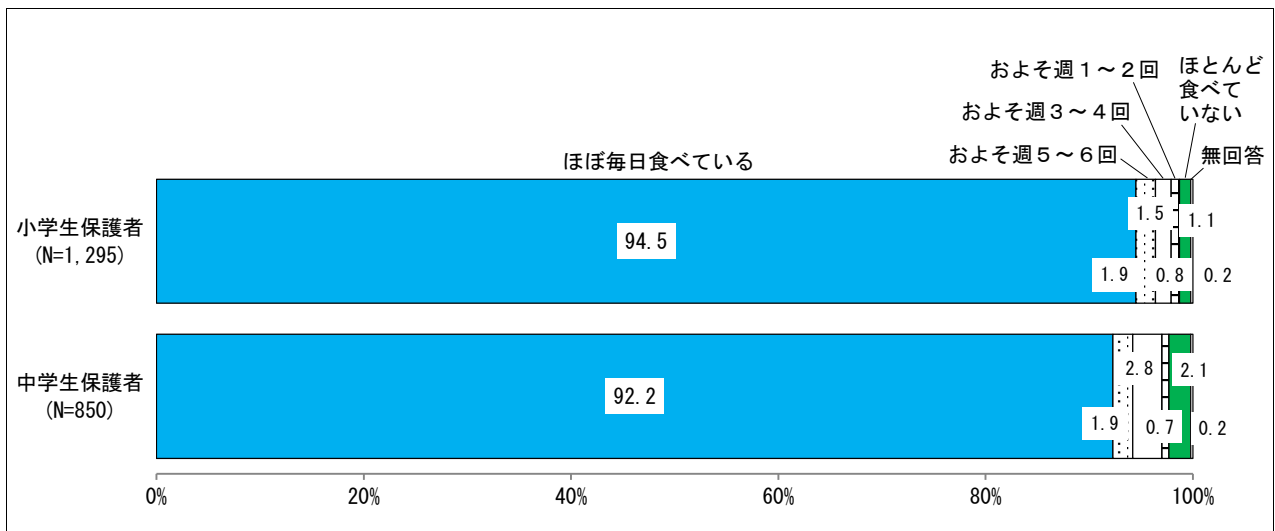
(1) 朝食を食べる頻度

■ 児童・生徒 <単一回答>



朝食を「ほぼ毎日食べている」割合はともに8割台となっており、1回以上欠食する割合は、児童で11.1%、生徒で13.9%みられる。

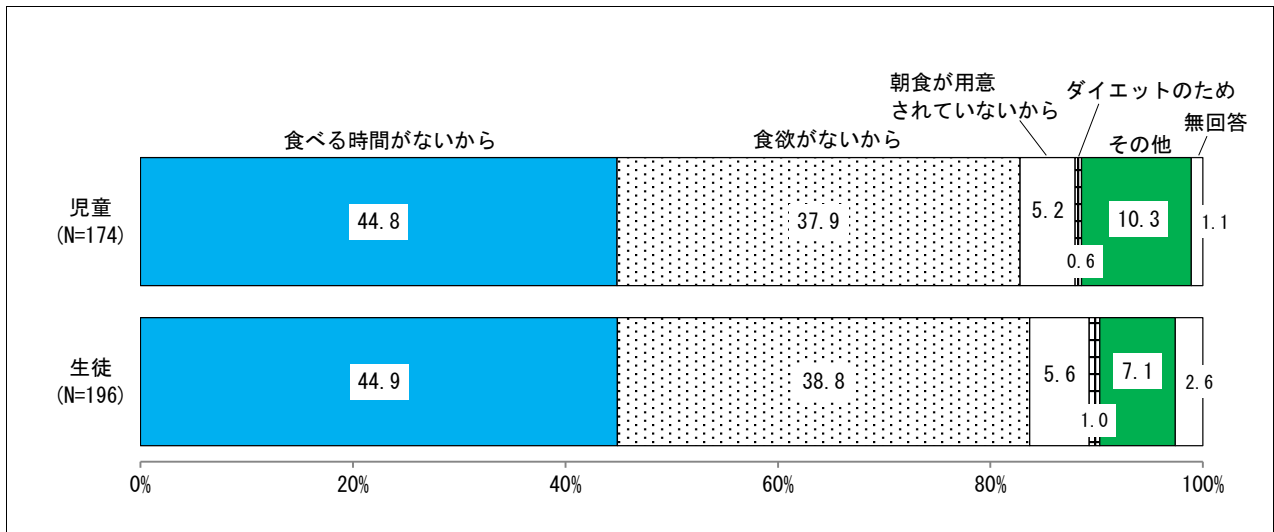
■ 保護者 <単一回答>



子どもが朝食を「ほぼ毎日食べている」割合はともに9割台となっており、1回以上欠食する割合は、小学生保護者で5.3%、中学生保護者で7.5%みられる。

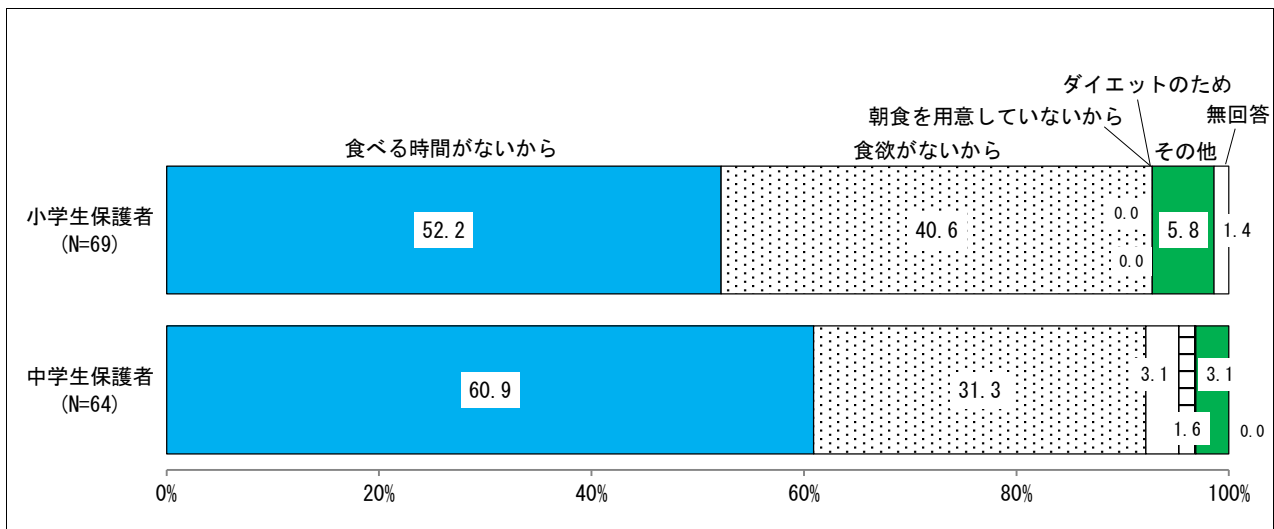
(2) 朝食を食べない理由

■ 児童・生徒 <単一回答>



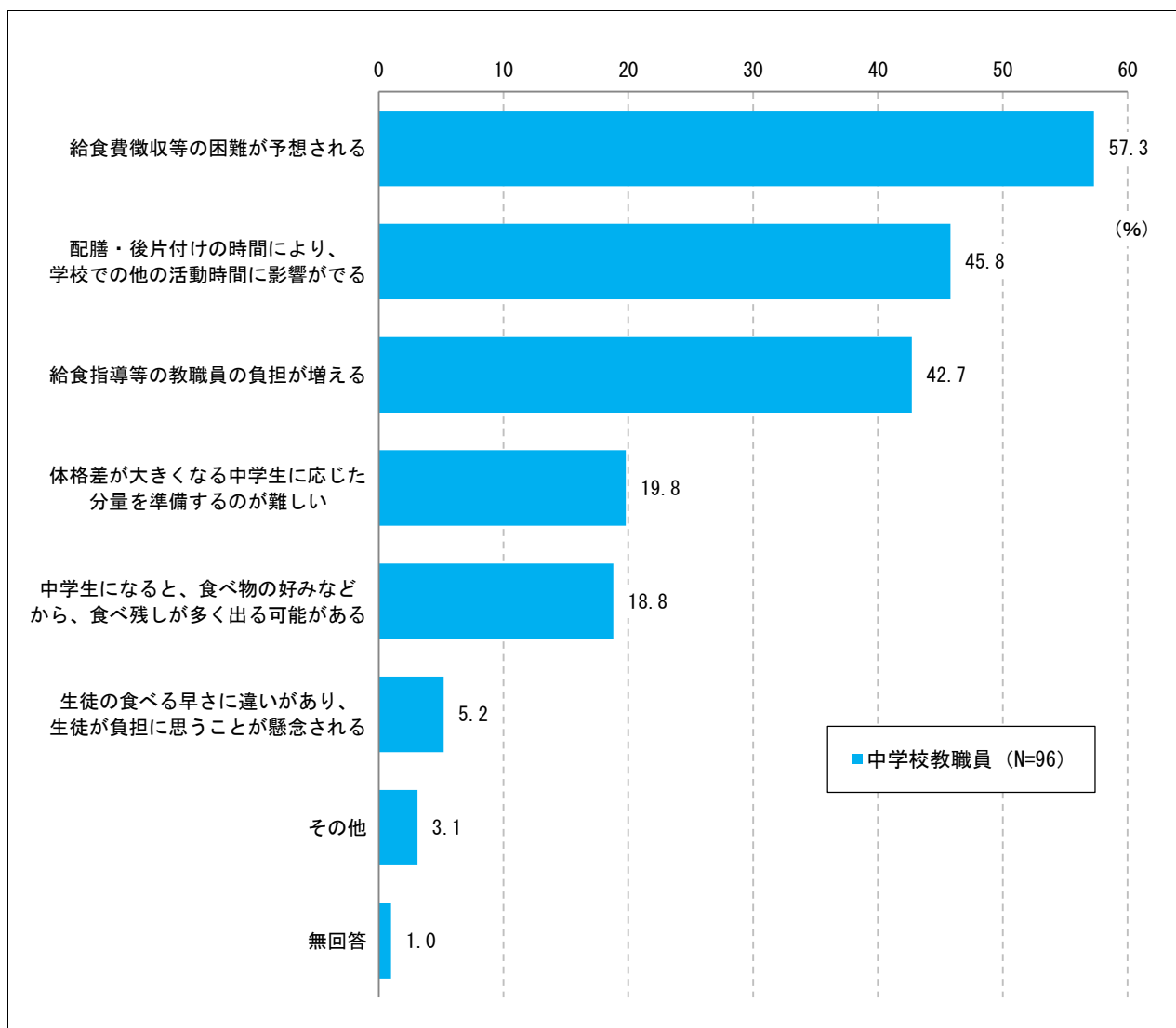
朝食を1回以上欠食する児童・生徒の理由としては、ともに「食べる時間がないから」が4割台と最も高く、次いで「食欲がないから」が4割弱となっている。

■ 保護者 <単一回答>



子どもが朝食を1回以上欠食する場合の理由としては、ともに「食べる時間がないから」が過半数を占めており、小学生保護者で5割台（52.2%）、中学生保護者で約6割（60.9%）となっている。

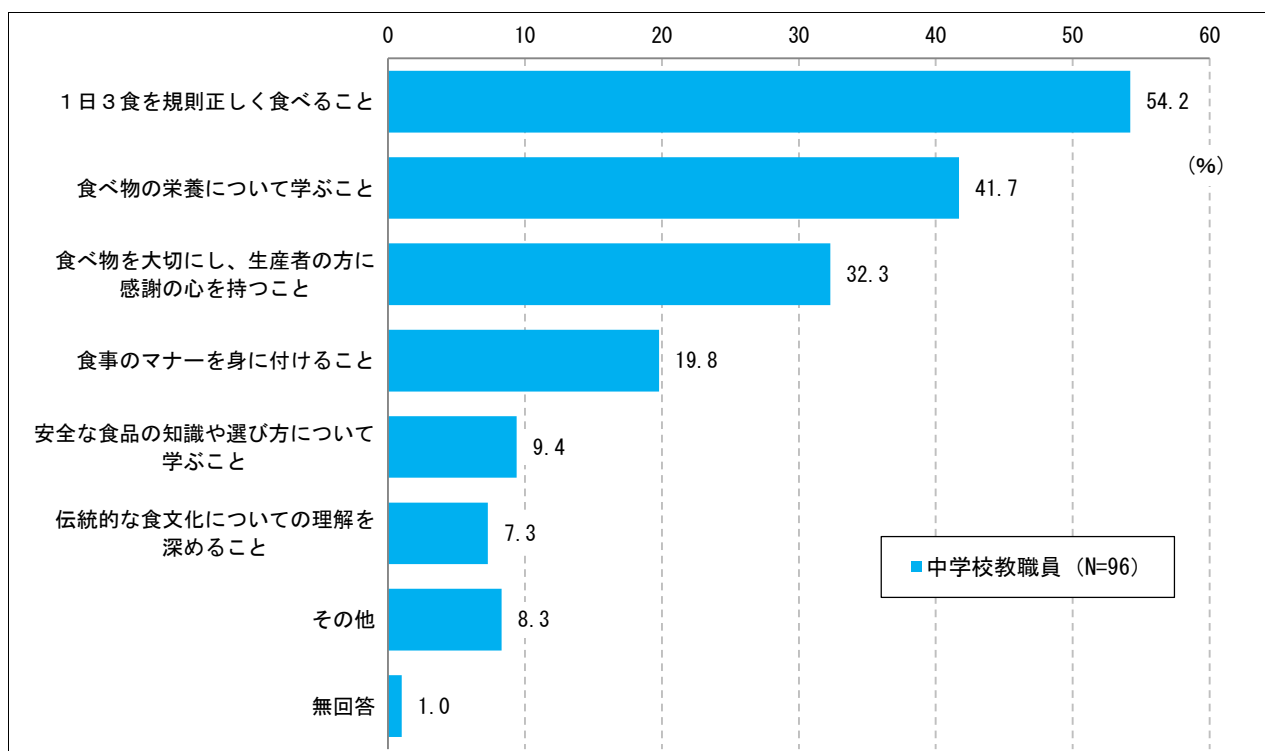
7 中学校給食実施にあたっての課題【※中学校教職員のみ対象】 <複数回答（2つまで選択可）>



中学校教職員が考える中学校給食を実施するにあたっての課題としては、「給食費徴収等の困難が予想される」が6割弱（57.3%）と最も高く、次いで「配膳・後片付けの時間により、学校での他の活動時間に影響がでる」が45.8%、「給食指導等の教職員の負担が増える」が42.7%となっている。

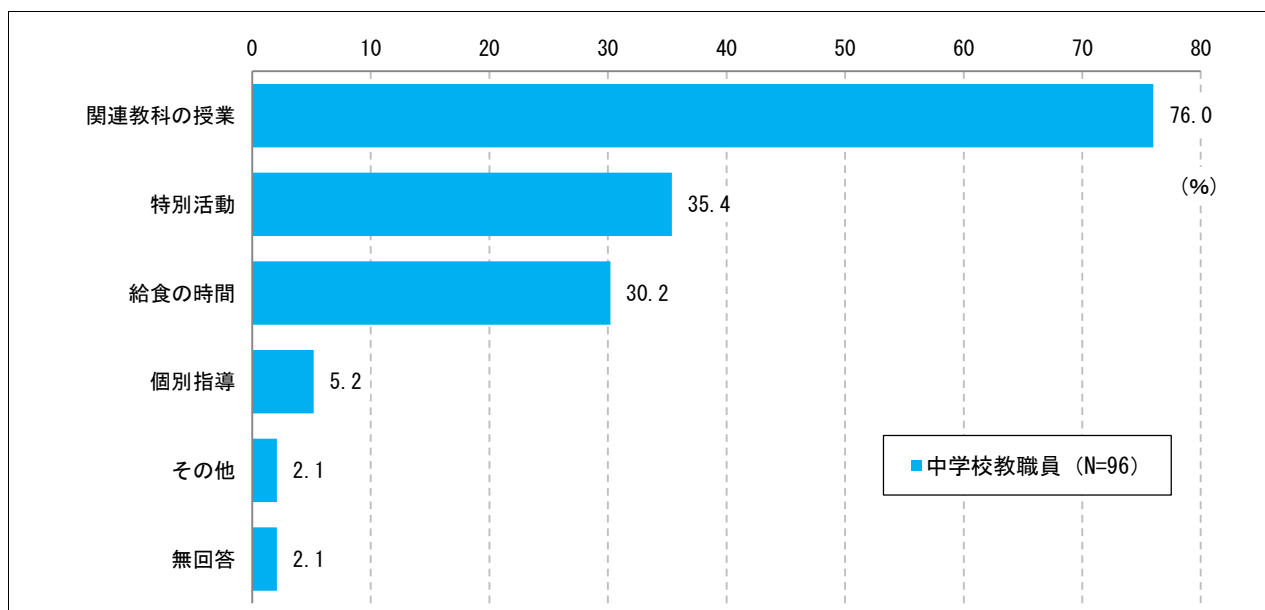
8 食育に対する考え [※中学校教職員のみ対象]

(1) 給食を通して生徒に伝えたいこと <複数回答(2つまで選択可)>



給食を通して生徒に伝えたいこととしては、「1日3食を規則正しく食べること」が5割台(54.2%)と最も高く、次いで「食べ物の栄養について学ぶこと」が41.7%、「食べ物を大切にし、生産者の方に感謝の心を持つこと」が32.3%となっている。

(2) 食育実施に効果があがる機会 <複数回答(2つまで選択可)>



食育実施のために最も効果があがると思う機会としては、「関連教科の授業」が7割台(76.0%)と最も高く、次いで「特別活動」が35.4%、「給食の時間」が30.2%となっている。

（１）『児童用』調査票見本

児童用

中学校の昼食に関するアンケート

【問１】 あなたの学年・性別に○をつけてください。

学年： （ ４年生 ・ ５年生 ・ ６年生 ） 性別： （ 男 ・ 女 ）

＜中学校の昼食について＞

【問２】 全員にお聞きします。

中学校ではどのような昼食を食べたいですか。

（もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。）

- | | | |
|---|--------------------|----------|
| 1 | 小学校のような給食 | …【問3-1】へ |
| 2 | 弁当給食 | …【問3-2】へ |
| 3 | 家庭の弁当 | …【問3-3】へ |
| 4 | 家庭の弁当と弁当給食を選択できる昼食 | …【問3-4】へ |

*用語説明

小学校のような給食

小学校の給食と同じように、給食当番が教室に運び、教室で食器に盛り付けて食べる方式です。

- ・主食（ごはん等）、副食（おかず等）、牛乳
- ・主食、副食ともに温かい状態
- ・運搬、配膳、後片付けの時間が必要

弁当給食

民間の調理施設で調理された給食が、弁当箱に盛り付けられた状態で学校に運ばれます。それを給食当番が教室に運び、食べる方式です。

- ・主食（ごはん）、副食（おかず等）、牛乳
- ・主食は温かい状態、おかずは10℃以下で保冷した状態
- ・「小学校のような給食」に比べ、配膳時間は短い

選択できる昼食

家庭の弁当か、弁当給食かを、献立表を見て、日にちごとに事前を選ぶ方式です。

【問3-1】 【問2】で「1」と答えた人にお聞きします。

「小学校のような給食きゅうしょくが良いと答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 小学校の給食きゅうしょくに慣れているから
- 2 小学校の給食きゅうしょくがおいしいから
- 3 温かい給食あたたかきゅうしょくがよいから
- 4 栄養バランスが考えられているから
- 5 みんなと同じ物を食べられるから
- 6 弁当べんとうを毎日持っていくのが面倒めんどうだから
- 7 その他 ()

…【問4】へ

【問3-2】 【問2】で「2」と答えた人にお聞きします。

「弁当給食べんとうきゅうしょくが良いと答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 栄養バランスが考えられているから
- 2 みんなと同じ物を食べられるから
- 3 配膳はいぜん・後片付けあとかたづけが簡単かんたんだから
- 4 弁当べんとうを毎日持っていくのが面倒めんどうだから
- 5 その他 ()

…【問4】へ

【問3-3】 【問2】で「3」と答えた人にお聞きします。

「家庭の弁当べんとうと答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 弁当べんとうの方が好きすだから
- 2 自分の好きな物すや食べる量りょうを調整ちようせいできるから
- 3 食物アレルギーたいお対応が細やかにできるから
- 4 弁当べんとうを通じて家族との会話ができるから
- 5 給食当番きゅうしょくをしなくてよいから
- 6 その他 ()

…【問4】へ

【問3-4】 【問2】で「4」と答えた人にお聞きします。

「^{せんたく}選^て択^{できる}できる^{昼食}昼食」と答えた理由は何ですか。
 (あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 ^{べんとう きゅうしょく}弁当給食もあることで^{えいよう}栄養^{おぎな}バランスを補うことができるから
- 2 ^{べんとう}家庭の弁当だけ、^{べんとう きゅうしょく}弁当給食だけだとあきるから
- 3 ^{べんとう}弁当を毎日つくるのは^{たいへん}家族が大変だから
- 4 ^{こんだてひょう}献立表を見て、日にちごとに^{えら}選ぶことができるから
- 5 その他 ()

…【問4】へ

【問4】 全員にお聞きします。

中学校^{きゅうしょく}給食に期待することは何ですか。
 (あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 温かい^{えいよう}昼食
- 2 ^{えいよう}栄養^よバランスの良さ
- 3 ^{はいぜん}配膳・^{あとかたづ}後片付けが^{かんたん}簡単にできること
- 4 食物アレルギーへの^{たいおう}対応
- 5 ^す好き嫌いをなくせること
- 6 食に^{かん}関する^{ちしき}知識が^え得られること
- 7 その他 ()

…【問5】へ

<朝食の状況について>

【問5】 全員にお聞きします。

朝食を食べていますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|------------|-----------------------|
| 1 | ほぼ毎日食べている | …質問は以上です。ありがとうございました。 |
| 2 | およそ週5～6回 | …【問6】へ |
| 3 | およそ週3～4回 | …【問6】へ |
| 4 | およそ週1～2回 | …【問6】へ |
| 5 | ほとんど食べていない | …【問6】へ |

【問6】 【問5】で「2」「3」「4」「5」と答えた人にお聞きします。

朝食を食べていない理由は何ですか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|---------------|--|
| 1 | 食欲がないから | |
| 2 | 食べる時間がないから | |
| 3 | 朝食が用意されていないから | |
| 4 | ダイエットのため | |
| 5 | その他 () | |

ご協力ありがとうございました。

(2) 『生徒用』 調査票見本

生徒用

中学校の昼食に関するアンケート

【問1】 あなたの学年・性別に○をつけてください。

学年： (1年生 ・ 2年生 ・ 3年生) 性別： (男 ・ 女)

<中学校の昼食について>

【問2】 全員にお聞きします。

中学校ではどのような昼食を食いたいですか。
(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|--------------------|----------|
| 1 | 小学校のような給食 | …【問3-1】へ |
| 2 | 弁当給食 | …【問3-2】へ |
| 3 | 家庭の弁当 | …【問3-3】へ |
| 4 | 家庭の弁当と弁当給食を選択できる昼食 | …【問3-4】へ |

*用語説明

小学校のような給食

1クラス分まとめて食缶に入れてあるものを、給食当番が教室に運び、教室で食器に盛り付けて食べる方式です。

- ・主食(ごはん等)、副食(おかず等)、牛乳
- ・主食、副食ともに温かい状態
- ・運搬、配膳、後片付けの時間が必要

弁当給食

民間の調理施設で調理された給食が、弁当箱に盛り付けられた状態で学校に運ばれます。それを給食当番が教室に運び、食べる方式です。

- ・主食(ごはん)、副食(おかず等)、牛乳
- ・主食は温かい状態、おかずは10℃以下で保冷した状態
- ・「小学校のような給食」に比べ、配膳時間は短い

選択できる昼食

家庭の弁当か、弁当給食かを、献立表を見て、日にちごとに事前に選ぶ方式です。

【問3-1】 【問2】で「1」と答えた人にお聞きします。

「小学校のような給食」が良いと答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を3つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 小学校の給食に慣れているから
- 2 小学校の給食がおいしかったから
- 3 温かい給食がよいから
- 4 栄養バランスが考えられているから
- 5 食育への関心が高まるから
- 6 みんなと同じ物を食べられるから
- 7 好き嫌いをなくすきっかけになるから
- 8 弁当を毎日持っていくのが面倒だから
- 9 その他 ()

…【問4】へ

【問3-2】 【問2】で「2」と答えた人にお聞きします。

「弁当給食」が良いと答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 栄養バランスが考えられているから
- 2 食育への関心が高まるから
- 3 みんなと同じ物を食べられるから
- 4 好き嫌いをなくすきっかけになるから
- 5 配膳・後片付けが簡単だから
- 6 弁当を毎日持っていくのが面倒だから
- 7 その他 ()

…【問4】へ

【問3-3】 【問2】で「3」と答えた人にお聞きします。

「家庭の弁当」と答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を3つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 弁当の方が好きだから
- 2 自分の好きな物を入れてもらえるから
- 3 その日の体調に合わせて量を調整できるから
- 4 食物アレルギー対応が細やかにできるから
- 5 お昼の時間にすぐに食べられるから
- 6 給食当番をしなくてよいから
- 7 弁当を通じて家族との会話ができるから
- 8 その他 ()

…【問4】へ

【問3-4】 【問2】で「4」と答えた人にお聞きします。

「選択できる昼食」と答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 弁当給食もあることで栄養バランスを補うことができるから
- 2 家庭の弁当だけ、弁当給食だけだとあきるから
- 3 弁当を毎日つくるのは家族が大変だから
- 4 献立表を見て、日にちごとに選ぶことができるから
- 5 その他 ()

…【問4】へ

【問4】 全員にお聞きします。

中学校給食に期待することは何ですか。
(あてはまる項目を3つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 温かい昼食
- 2 栄養バランスの良さ
- 3 配膳・後片付けの容易さ
- 4 食物アレルギーへの対応
- 5 苦手な食材の克服
- 6 食への関心や知識の習得
- 7 伝統的な食文化についての理解を深めること
- 8 その他 ()

…【問5】へ

<昼食の状況について>

【問5】 全員にお聞きします。

中学校の昼食は家庭で作った弁当を持っていますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- 1 ほぼ毎日
- 2 およそ週3～4日
- 3 およそ週1～2日
- 4 ほとんど持ってこない

…【問6】へ

【問6】 全員にお聞きします。

弁当を持って来ない日の昼食は何を食べていますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- 1 校内販売のパン …【問7】へ
- 2 コンビニなどで買ったおにぎりやパン …【問7】へ
- 3 食べていない …【問8】へ
- 4 弁当を持って来ない日はない …【問8】へ
- 5 その他 () …【問7】へ

【問7】 【問6】で「1」「2」「5」と答えた人にお聞きします。

弁当を持って来ない日の昼食代はいくらくらいですか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- 1 300円以下
- 2 301円～400円
- 3 401円～500円
- 4 501円以上
- 5 その他 ()

…【問8】へ

<朝食の状況について>

【問8】 全員にお聞きします。

朝食を食べていますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|------------|-----------------------|
| 1 | ほぼ毎日食べている | …質問は以上です。ありがとうございました。 |
| 2 | およそ週5～6回 | …【問9】へ |
| 3 | およそ週3～4回 | …【問9】へ |
| 4 | およそ週1～2回 | …【問9】へ |
| 5 | ほとんど食べていない | …【問9】へ |

【問9】 【問8】で「2」「3」「4」「5」と答えた人にお聞きします。

朝食を食べていない理由は何ですか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|---------------|--|
| 1 | 食欲がないから | |
| 2 | 食べる時間がないから | |
| 3 | 朝食が用意されていないから | |
| 4 | ダイエットのため | |
| 5 | その他 () | |

ご協力ありがとうございました。

(3) 『小学生保護者用』 調査票見本

小学生保護者用

中学校の昼食に関するアンケート

【問1】 お子さんの学年・性別に○をつけてください。

学年： (4年生 ・ 5年生 ・ 6年生) 性別： (男 ・ 女)

<中学校の昼食について>

【問2】 全員の方にお聞きします。

中学校での昼食についてどのようなものが良いと思いますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|--------------------|----------|
| 1 | 小学校のような給食 | …【問3-1】へ |
| 2 | 弁当給食 | …【問3-2】へ |
| 3 | 家庭の弁当 | …【問3-3】へ |
| 4 | 家庭の弁当と弁当給食を選択できる昼食 | …【問3-4】へ |

*用語説明

小学校のような給食

1 クラス分まとめて食缶に入れてあるものを、給食当番が教室に運び、教室で食器に盛り付けて食べる方式です。

- ・主食（ごはん等）、副食（おかず等）、牛乳
- ・主食、副食ともに温かい状態
- ・運搬、配膳、後片付けの時間が必要

弁当給食

民間の調理施設で調理された給食が、弁当箱に盛り付けられた状態で学校に運ばれます。それを給食当番が教室に運び、食べる方式です。

- ・主食（ごはん）、副食（おかず等）、牛乳
- ・主食は温かい状態、おかずは10℃以下で保冷した状態
- ・「小学校のような給食」に比べ、配膳時間は短い

選択できる昼食

家庭の弁当か、弁当給食かを、献立表を見て、日にちごとに事前に選ぶ方式です。

【問3-1】 【問2】で「1」と回答された方にお聞きします。

「小学校のような給食」が良いと答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を3つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 小学校の給食に慣れているから
- 2 温かい給食がよいから
- 3 栄養バランスが考えられているから
- 4 食育への関心が高まるから
- 5 みんなと同じ物を食べられるから
- 6 好き嫌いをなくすきっかけになるから
- 7 弁当を準備するのが大変だから
- 8 その他 ()

…【問4】へ

【問3-2】 【問2】で「2」と回答された方にお聞きします。

「弁当給食」が良いと答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 栄養バランスが考えられているから
- 2 食育への関心が高まるから
- 3 みんなと同じ物を食べられるから
- 4 好き嫌いをなくすきっかけになるから
- 5 子どもの配膳時間が短くてすむから
- 6 弁当を準備するのが大変だから
- 7 その他 ()

…【問4】へ

【問3-3】 【問2】で「3」と回答された方にお聞きします。

「家庭の弁当」と答えた理由は何ですか。
 (あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 弁当をつくってあげたいから
- 2 食物アレルギー対応が細やかにできるから
- 3 子どもの好きな物を入れてあげられるから
- 4 その日の子どもの体調等に合わせて量を調整できるから
- 5 弁当の食べ残しにより子どもの体調等を把握できるから
- 6 弁当を通じて子どもとの会話ができるから
- 7 その他 ()

…【問4】へ

【問3-4】 【問2】で「4」と回答された方にお聞きします。

「選択できる昼食」と答えた理由は何ですか。
 (あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 弁当給食もあることで栄養バランスを補うことができるから
- 2 弁当給食も選べることで子どもの楽しみが広がるから
- 3 毎日弁当をつくる負担の軽減になるから
- 4 献立表を見て、日にちごとに選ぶことができるから
- 5 その他 ()

…【問4】へ

【問4】 全員の方にお聞きします。

中学校給食に期待することは何ですか。
 (あてはまる項目を3つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 温かい昼食
- 2 栄養バランスの良さ
- 3 経済的に困難な家庭の支援
- 4 食物アレルギーへの対応
- 5 苦手な食材の克服
- 6 食の安全性が確保されること
- 7 食への関心や知識の習得
- 8 伝統的な食文化についての理解を深めること
- 9 その他 ()

…【問5】へ

<朝食の状況について>

【問5】 全員の方にお聞きします。

あなたのお子さんは朝食を食べていますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|------------|-----------------------|
| 1 | ほぼ毎日食べている | …質問は以上です。ありがとうございました。 |
| 2 | およそ週5～6回 | …【問6】へ |
| 3 | およそ週3～4回 | …【問6】へ |
| 4 | およそ週1～2回 | …【問6】へ |
| 5 | ほとんど食べていない | …【問6】へ |

【問6】 【問5】で「2」「3」「4」「5」と回答された方にお聞きします。

あなたのお子さんが朝食を食べない理由は何ですか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | |
|---|--------------|
| 1 | 食欲がないから |
| 2 | 食べる時間がないから |
| 3 | 朝食を用意していないから |
| 4 | ダイエットのため |
| 5 | その他 () |

ご協力ありがとうございました。

(4) 『中学生保護者用』 調査票見本

中学生保護者用

中学校の昼食に関するアンケート

【問1】 お子さんの学年・性別に○をつけてください。

学年： (1年生 ・ 2年生) 性別： (男 ・ 女)

<中学校の昼食について>

【問2】 全員の方にお聞きします。

中学校での昼食についてどのようなものが良いと思いますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|--------------------|----------|
| 1 | 小学校のような給食 | …【問3-1】へ |
| 2 | 弁当給食 | …【問3-2】へ |
| 3 | 家庭の弁当 | …【問3-3】へ |
| 4 | 家庭の弁当と弁当給食を選択できる昼食 | …【問3-4】へ |

*用語説明

小学校のような給食

1クラス分まとめて食缶に入れてあるものを、給食当番が教室に運び、教室で食器に盛り付けて食べる方式です。

- ・主食（ごはん等）、副食（おかず等）、牛乳
- ・主食、副食ともに温かい状態
- ・運搬、配膳、後片付けの時間が必要

弁当給食

民間の調理施設で調理された給食が、弁当箱に盛り付けられた状態で学校に運ばれます。それを給食当番が教室に運び、食べる方式です。

- ・主食（ごはん）、副食（おかず等）、牛乳
- ・主食は温かい状態、おかずは10℃以下で保冷した状態
- ・「小学校のような給食」に比べ、配膳時間は短い

選択できる昼食

家庭の弁当か、弁当給食かを、献立表を見て、日にちごとに事前に選ぶ方式です。

【問3-1】 【問2】で「1」と回答された方にお聞きします。

「小学校のような給食」が良いと答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を3つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 小学校の給食に慣れているから
- 2 温かい給食がよいから
- 3 栄養バランスが考えられているから
- 4 食育への関心が高まるから
- 5 みんなと同じ物を食べられるから
- 6 好き嫌いをなくすきっかけになるから
- 7 弁当を準備するのが大変だから
- 8 その他 ()

…【問4】へ

【問3-2】 【問2】で「2」と回答された方にお聞きします。

「弁当給食」が良いと答えた理由は何ですか。
(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 栄養バランスが考えられているから
- 2 食育への関心が高まるから
- 3 みんなと同じ物を食べられるから
- 4 好き嫌いをなくすきっかけになるから
- 5 子どもの配膳時間が短くてすむから
- 6 弁当を準備するのが大変だから
- 7 その他 ()

…【問4】へ

【問3-3】 【問2】で「3」と回答された方にお聞きます。

「家庭の弁当」と答えた理由は何ですか。

(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 弁当をつくってあげたいから
- 2 食物アレルギー対応が細やかにできるから
- 3 子どもの好きな物を入れてあげられるから
- 4 その日の子どもの体調等に合わせて量を調整できるから
- 5 弁当の食べ残しにより子どもの体調等を把握できるから
- 6 弁当を通じて子どもとの会話ができるから
- 7 その他 ()

…【問4】へ

【問3-4】 【問2】で「4」と回答された方にお聞きます。

「選択できる昼食」と答えた理由は何ですか。

(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 弁当給食もあることで栄養バランスを補うことができるから
- 2 弁当給食も選べることで子どもの楽しみが広がるから
- 3 毎日弁当をつくる負担の軽減になるから
- 4 献立表を見て、日にちごとに選ぶことができるから
- 5 その他 ()

…【問4】へ

【問4】 全員の方にお聞きます。

中学校給食に期待することは何ですか。

(あてはまる項目を3つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 温かい昼食
- 2 栄養バランスの良さ
- 3 経済的に困難な家庭の支援
- 4 食物アレルギーへの対応
- 5 苦手な食材の克服
- 6 食の安全性が確保されること
- 7 食への関心や知識の習得
- 8 伝統的な食文化についての理解を深めること
- 9 その他 ()

…【問5】へ

< 昼食の状況について >

【問5】 全員の方にお聞きします。

ご家庭ではお子さんの弁当を作っていますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | |
|---|-----------|
| 1 | ほぼ毎日作っている |
| 2 | およそ週3～4回 |
| 3 | およそ週1～2回 |
| 4 | ほとんど作らない |

…【問6】へ

【問6】 全員の方にお聞きします。

弁当を作っていない日がある理由は何ですか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|-------------------|--------|
| 1 | 毎日の献立に苦慮するから | …【問7】へ |
| 2 | 作る時間がないから | …【問7】へ |
| 3 | 子どもが自分で弁当を作っているから | …【問7】へ |
| 4 | 子どもが弁当以外を希望するから | …【問7】へ |
| 5 | 子どもが弁当を好きでないから | …【問7】へ |
| 6 | 作るのが面倒だから | …【問7】へ |
| 7 | 弁当を作っていない日はない | …【問9】へ |
| 8 | その他 () | …【問7】へ |

【問7】 【問6】で「1」「2」「3」「4」「5」「6」「8」と回答された方にお聞きします。

弁当を作っていない日のお子さんの昼食はどうしていますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|-------------------|--------|
| 1 | 校内販売のパン | …【問8】へ |
| 2 | コンビニなどで買ったおにぎりやパン | …【問8】へ |
| 3 | 食べていない | …【問9】へ |
| 4 | わからない | …【問8】へ |
| 5 | その他 () | …【問8】へ |

【問8】 【問7】で「1」「2」「4」「5」と回答された方にお聞きします。

弁当を作っていない日のお子さんの昼食代はいくらくらいですか。
 (もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 300円以下 | |
| 2 | 301円～400円 | |
| 3 | 401円～500円 | |
| 4 | 501円以上 | |
| 5 | その他() | |

…【問9】へ

<朝食の状況について>

【問9】 全員の方にお聞きします。

あなたのお子さんは朝食を食べていますか。
 (もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|------------|-----------------------|
| 1 | ほぼ毎日食べている | …質問は以上です。ありがとうございました。 |
| 2 | およそ週5～6回 | …【問10】へ |
| 3 | およそ週3～4回 | …【問10】へ |
| 4 | およそ週1～2回 | …【問10】へ |
| 5 | ほとんど食べていない | …【問10】へ |

【問10】 【問9】で「2」「3」「4」「5」と回答された方にお聞きします。

あなたのお子さんが朝食を食べない理由は何ですか。
 (もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|--------------|--|
| 1 | 食欲がないから | |
| 2 | 食べる時間がないから | |
| 3 | 朝食を用意していないから | |
| 4 | ダイエットのため | |
| 5 | その他() | |

ご協力ありがとうございました。

(5) 『中学校教職員用』 調査票見本

中学校教職員用

中学校の昼食に関するアンケート

<中学校の昼食について>

【問1】 全員の方にお聞きします。

中学校での昼食についてどのようなものが良いと思いますか。

(もっともあてはまる項目を1つ選んで、番号に○をつけてください。)

- | | | |
|---|--------------------|----------|
| 1 | 小学校のような給食 | …【問2-1】へ |
| 2 | 弁当給食 | …【問2-2】へ |
| 3 | 家庭の弁当 | …【問2-3】へ |
| 4 | 家庭の弁当と弁当給食を選択できる昼食 | …【問2-4】へ |

*用語説明

小学校のような給食

1クラス分まとめて食缶に入れてあるものを、給食当番が教室に運び、教室で食器に盛り付けて食べる方式です。

- ・主食（ごはん等）、副食（おかず等）、牛乳
- ・主食、副食ともに温かい状態
- ・運搬、配膳、後片付けの時間が必要

弁当給食

民間の調理施設で調理された給食が、弁当箱に盛り付けられた状態で学校に運ばれます。それを給食当番が教室に運び、食べる方式です。

- ・主食（ごはん）、副食（おかず等）、牛乳
- ・主食は温かい状態、おかずは10℃以下で保冷した状態
- ・「小学校のような給食」に比べ、配膳時間は短い

選択できる昼食

家庭の弁当か、弁当給食かを、献立表を見て、日にちごとに事前に選ぶ方式です。

【問2-1】 【問1】で「1」と回答された方にお聞きします。

「小学校のような給食」が良いと答えた理由は何ですか。
 (あてはまる項目を3つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 小学校の給食に慣れているから
- 2 温かい給食が提供できるから
- 3 栄養バランスが考えられているから
- 4 食育への関心が高まるから
- 5 みんなで同じ物を食べられるから
- 6 好き嫌いを指導するきっかけになるから
- 7 保護者の負担の軽減につながるから
- 8 その他 ()

…【問3】へ

【問2-2】 【問1】で「2」と回答された方にお聞きします。

「弁当給食」が良いと答えた理由は何ですか。
 (あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 栄養バランスが考えられているから
- 2 食育への関心が高まるから
- 3 みんなで同じ物を食べられるから
- 4 好き嫌いを指導するきっかけになるから
- 5 配膳時間が短くてすむから
- 6 保護者の負担の軽減につながるから
- 7 その他 ()

…【問3】へ

【問2-3】 【問1】で「3」と回答された方にお聞きします。

「家庭の弁当」と答えた理由は何ですか。
 (あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 食物アレルギー対応が細やかにできるから
- 2 子どもの体格にあった分量を準備できるから
- 3 その日の子どもの体調等に合わせて量を調整できるから
- 4 弁当の食べ残しにより保護者が子どもの体調等を把握できるから
- 5 弁当を通じて家族の会話ができるから
- 6 配膳時間を確保する必要がないから
- 7 その他 ()

…【問3】へ

【問2-4】 【問1】で「4」と回答された方にお聞きます。

「選択できる昼食」と答えた理由は何ですか。
 (あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 弁当給食もあることで栄養バランスを補うことができるから
- 2 弁当給食も選べることで子どもの楽しみが広がるから
- 3 毎日弁当をつくる親の負担の軽減になるから
- 4 家庭の事情等に対応ができるから
- 5 その他 ()

…【問3】へ

【問3】 全員の方にお聞きます。

中学校給食に期待することは何ですか。
 (あてはまる項目を3つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 温かい昼食
- 2 栄養バランスの良さ
- 3 経済的に困難な家庭の支援
- 4 食物アレルギーへの対応
- 5 好き嫌いを指導するきっかけ
- 6 食の安全性が確保されること
- 7 食への関心や知識の習得
- 8 伝統的な食文化についての理解を深めること
- 9 共同作業を行うことで協調性を養えること
- 10 その他 ()

…【問4】へ

【問4】 全員の方にお聞きます。

中学校給食を実施するにあたり課題と思われる点は何ですか。
 (あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 中学生になると、食べ物の好みなどから、食べ残しが多く出る可能性がある
- 2 配膳・後片付けの時間により、学校での他の活動時間に影響がでる
- 3 体格差が大きくなる中学生に応じた分量を準備するのが難しい
- 4 生徒の食べる早さに違いがあり、生徒が負担に思うことが懸念される
- 5 給食指導等の教職員の負担が増える
- 6 給食費徴収等の困難が予想される
- 7 その他 ()

…【問5】へ

<食育について>

【問5】 全員の方にお聞きします。

給食を通して生徒に伝えたいことは何ですか。

(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 1日3食を規則正しく食べること
- 2 食べ物の栄養について学ぶこと
- 3 安全な食品の知識や選び方について学ぶこと
- 4 食べ物を大切にし、生産者の方に感謝の心を持つこと
- 5 食事のマナーを身に付けること
- 6 伝統的な食文化についての理解を深めること
- 7 その他 ()

…【問6】へ

【問6】 全員の方にお聞きします。

食育を実施するにはどのような機会を利用すれば最も効果があがると思いますか。

(あてはまる項目を2つまで選んで番号に○をつけてください。)

- 1 関連教科の授業
- 2 特別活動
- 3 給食の時間
- 4 個別指導
- 5 その他 ()

ご協力ありがとうございました。

中学校の昼食に関するアンケート調査 報告書

平成28年 1月

編集・発行 向日市教育委員会

〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20番地 (西別館2階)

電話 075-931-1111 (代表) / Fax 075-931-2555
